

北広島町火葬場整備基本計画

令和6年3月

目次

はじめに	1
(1) 基本計画の目的	1
第1章 北広島町の概要	2
(1) 北広島町の概要	2
(2) 人口の推移と将来の推計	3
1) 人口の推移と将来の推計	3
2) 地域別人口分布	4
第2章 北広島町火葬場の現状	5
(1) 火葬場の概要	5
1) 慈光苑	6
2) 光寿苑	7
3) 浄寿苑	8
(2) 火葬状況	9
1) 火葬場別の火葬件数の推移	9
2) 地域別にみた火葬場別の利用件数	9
3) 火葬場別の補修状況	10
(3) アンケートの実施について	11
1) アンケートの結果からわかる現状と課題	11
2) アンケートの結果からわかるニーズ	11
(4) 必要炉数	13
1) 必要炉数算出の一般的な考え方	13
2) 死亡者数の推計	14
3) 必要な火葬炉数	14
第3章 火葬場の再整備の検討	15
(1) 各火葬場に係る課題	15
1) 人口減と高齢化	15
2) 火葬場の稼働率の低さと維持管理費	15
(2) 施設の維持・整備パターンについて	16
第4章 施設計画	18
(1) 想定される施設機能	18
(2) 候補地選定の進め方	19
(3) 候補地選定の条件案	19
(4) 候補地の検討	21
第5章 火葬場整備方針	22
(1) 整備方針案	22
(2) 慈光苑改修イメージ	23

資料編	資 1
資料 1	委員名簿	資 2
資料 2	策定経過	資 2
資料 3	諮問書及び答申書	資 3
資料 4	住民アンケート	資 4
資料 5	火葬場の運営費の想定推移について	資 21
資料 6	候補地選定条件	資 25
資料 7	火葬場での必要機能	資 29
資料 8	事業手法	資 32

(1) 基本計画の目的

本町では現在、3つの火葬場が設置、運営されていますが、老朽化が進んでいる施設もあり、施設の維持修繕に多額の経費が必要となることが想定されます。

近年、地域で執り行われていた葬送から、専門の葬儀会社による葬送や近親者のみで葬儀を執り行う家族葬など、葬送に対する習慣の変容がみられます。また火葬場についても、施設運営の効率化などを含めた、長期的な展望に基づいた施設整備の対策が求められています。

こうしたことから、現状と課題を把握して整理を行い、今後の北広島町における火葬場のあり方の基本的な方針について、基本計画として策定するものです。

第1章 北広島町の概要

(1) 北広島町の概要

本町は、平成17(2005)年2月1日に芸北町・大朝町・千代田町・豊平町の4町が合併し誕生しました。広島県の西北部、西中国山地の標高300mから800mの盆地、高原に広がる芸北地域のほぼ中央に位置し、北は島根県と接しています。また、広島都市圏から瀬戸内海の島々の水源地域で、太田川と江の川の源流域でもあります。

本町の北及び西は、中国山地の稜線が連なり、それを境に島根県と接し、東は平成16(2004)年3月発足の安芸高田市、南は広島市や安芸太田町が位置しています。

また、行政区域の面積は、646.20k㎡で、町としては中国地方一の広さになり、山県郡全体のおよそ2/3を占めています。

本町における主要な道路網は、中国縦貫自動車道と中国横断自動車道広島浜田線、一般国道186号、191号、261号、433号などが通り、インターチェンジが2カ所設置されるなど、山陰山陽の中間地点における交通の要衝となっています。

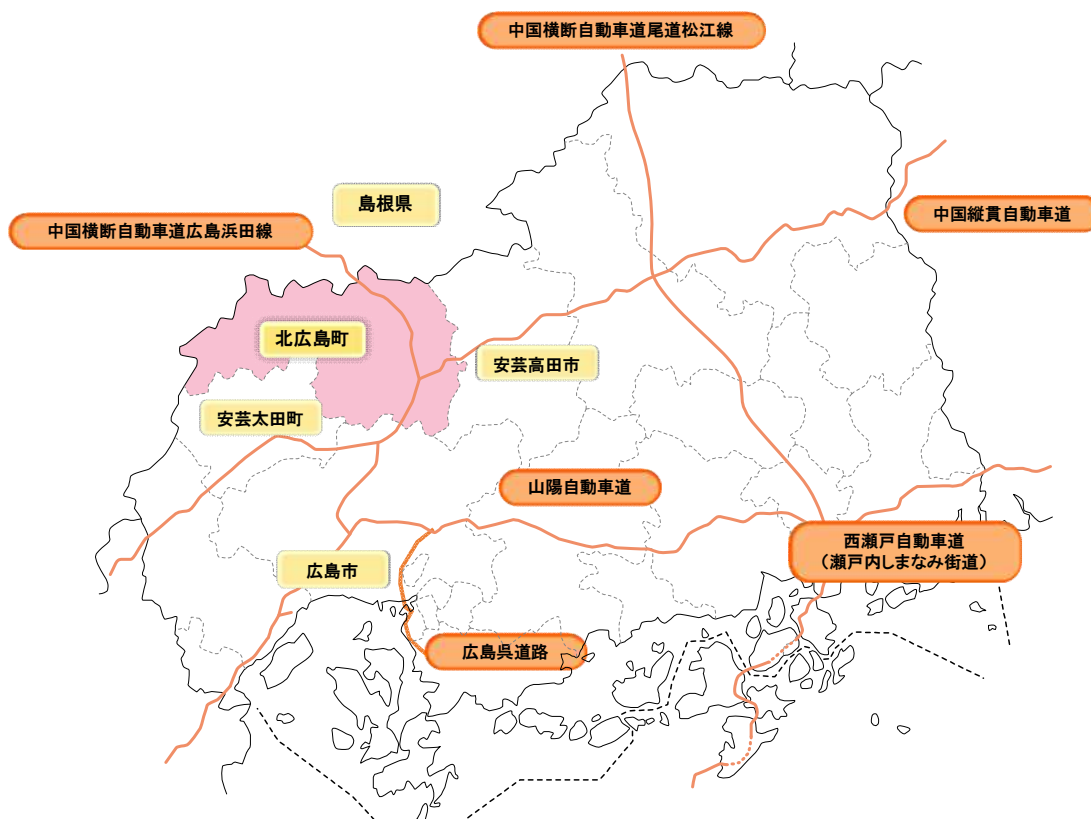


図1 北広島町の位置図

(2) 人口の推移と将来の推計

1) 人口の推移と将来の推計

本町の人口は、年々減少の傾向にあります。

図2は人口の推移と将来推計のグラフです。

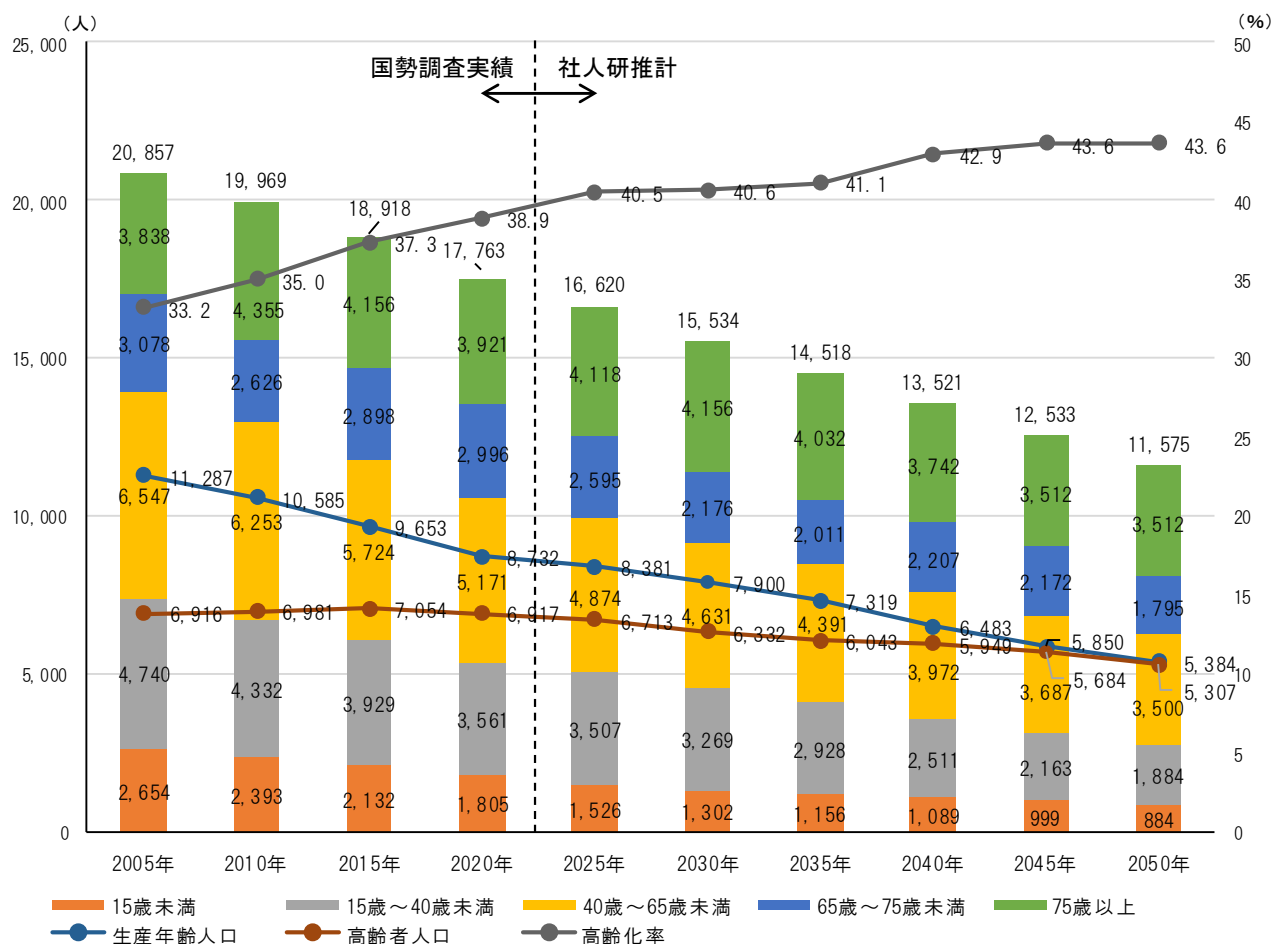


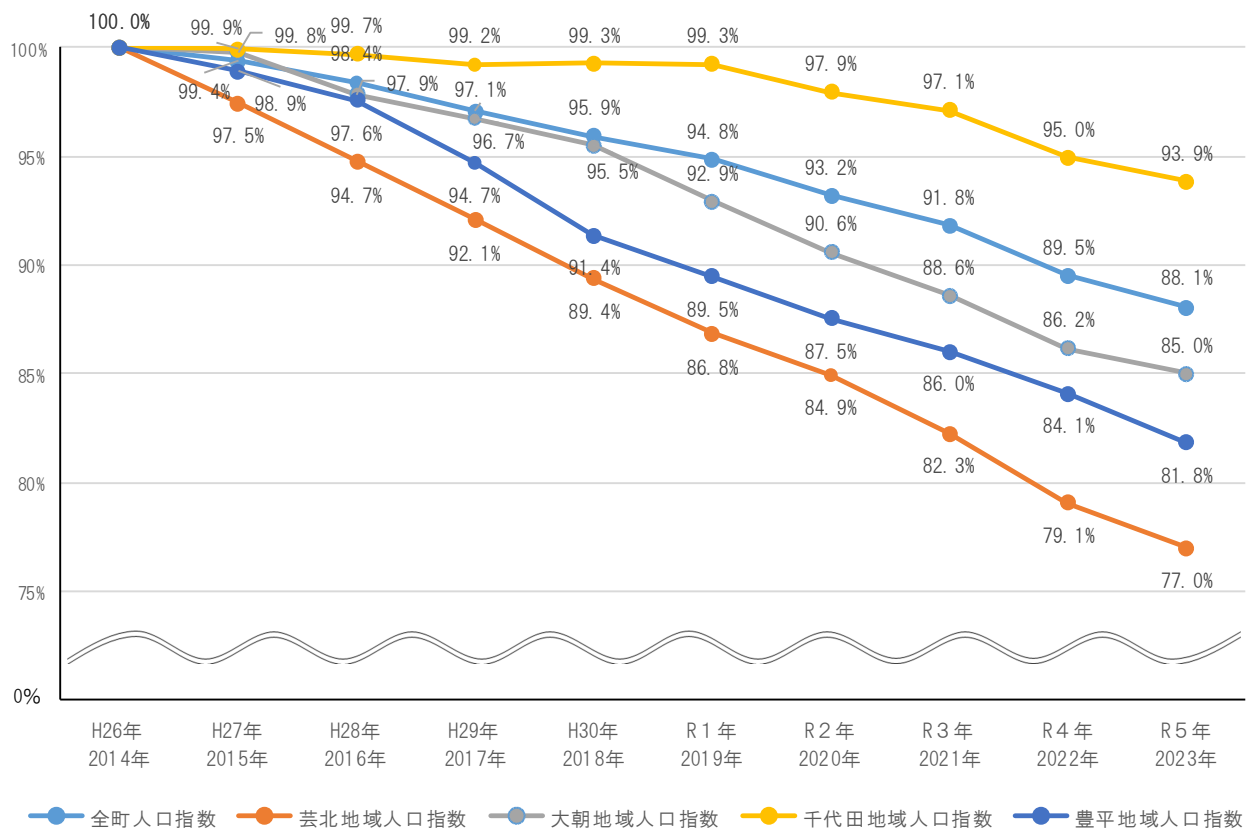
図2 人口の推移と将来推計

令和2(2020)年までは実数値、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所(以下、「社人研」という。)が推計した数値を引用しています。最新のデータは令和5(2023)年に推計したもので、令和2(2020)年の国勢調査を基に、令和32(2050)年までの5年ごと30年間について、男女・年齢(5歳)階級別の将来人口推計を行っています。

合併した平成17(2005)年と比較して、令和2(2020)年の人口は、3,094人減少し17,763人となっており、高齢化率は38.9%と約5%上昇しています。令和32(2050)年には人口が11,575人まで減少し、高齢化率は43.6%となると推計されています。

2) 地域別人口分布

平成 26 (2014) 年から令和 5 (2023) 年の住民基本台帳による各年度 3 月末の地区別人口割合の推移が図 3 のとおりです。



※各地域の人口指数はH26 (2014) 年を 100%としたときの人口の割合

図 3 各地区の人口指数の推移

令和 5 (2023) 年をみると、平成 26 (2014) 年と比較して、全町では 88.1% となっていますが、千代田地域は 93.9% と減少の割合が最も低く、次いで、大朝地域が 85.0%、豊平地域が 81.8% で、芸北地域が 77.0% の順に人口減の割合が高くなっています。

第2章 北広島町火葬場の現状

(1) 火葬場の概要

本町内には、慈光苑（千代田地域）、光寿苑（豊平地域）、浄寿苑（芸北地域）の3つの火葬場が設置されています。（図4）

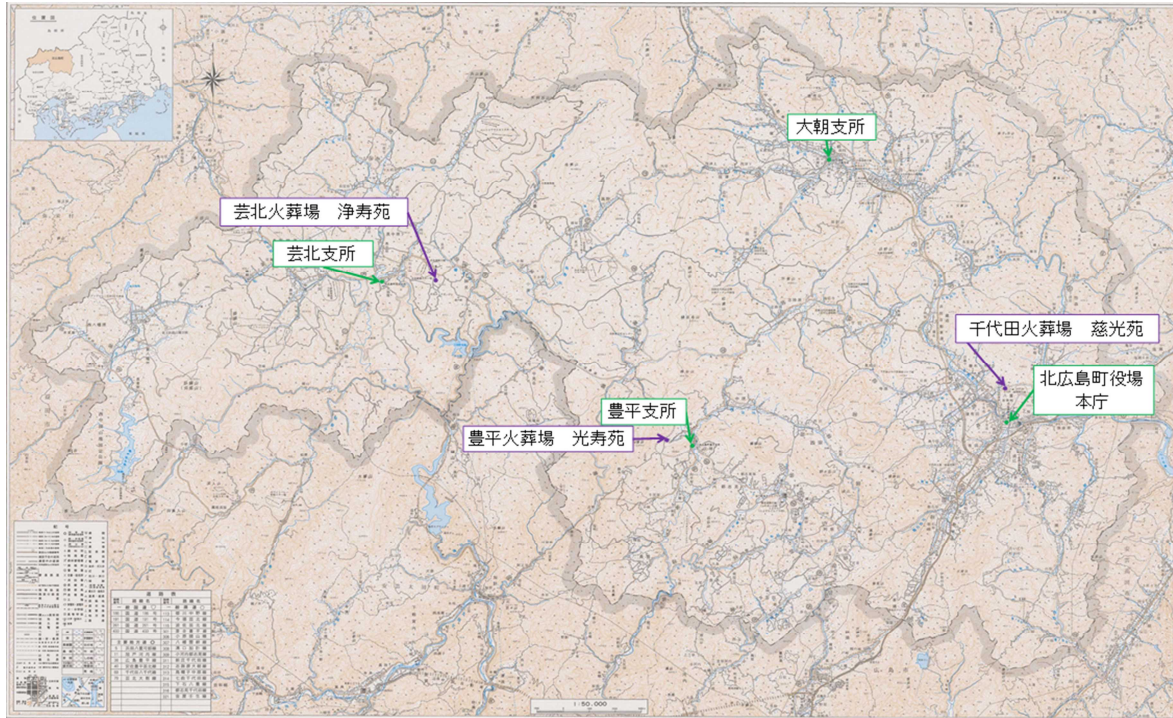


図4 火葬場の位置図

表1 火葬場の概要

施設名		慈光苑	光寿苑	浄寿苑
外観				
地域		壬生（千代田）	戸谷（豊平）	細見（芸北）
設立年		平成20（2008）年	平成9（1997）年	昭和51（1976）年
経過年数		15年	26年	47年
延床面積		289㎡	209㎡	93㎡
火葬炉数		2基	1基	1基
待合室		1室（約12畳）	1室	なし
トイレ	男性	1基	-	なし
	女性	1基	-	
	男女兼用	-	2基	
	多目的	1基	1基	
駐車場		8台程度	6台程度	10台程度
給湯室		あり	あり	なし
その他				別棟で事務室あり

1) 慈光苑



建物外観



炉前ホール



廊下・待合ホール



待合室

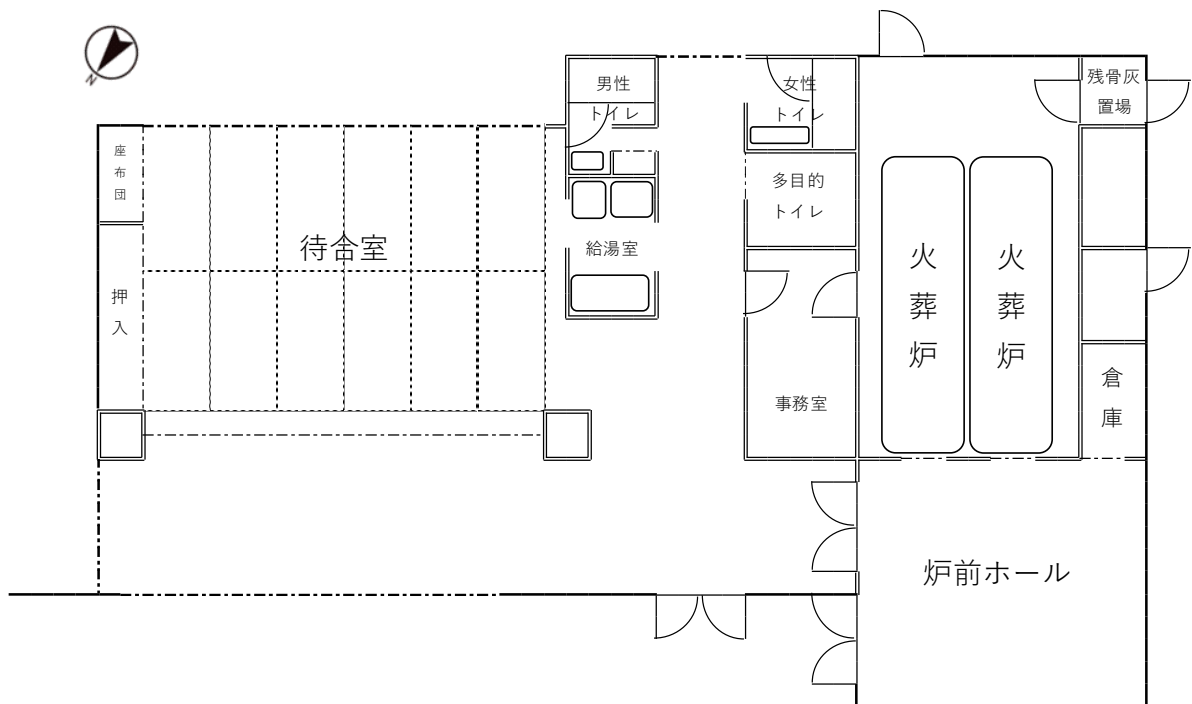


図5 慈光苑簡易平面図

2) 光寿苑



建物外観



炉前ホール



待合室入口



待合室

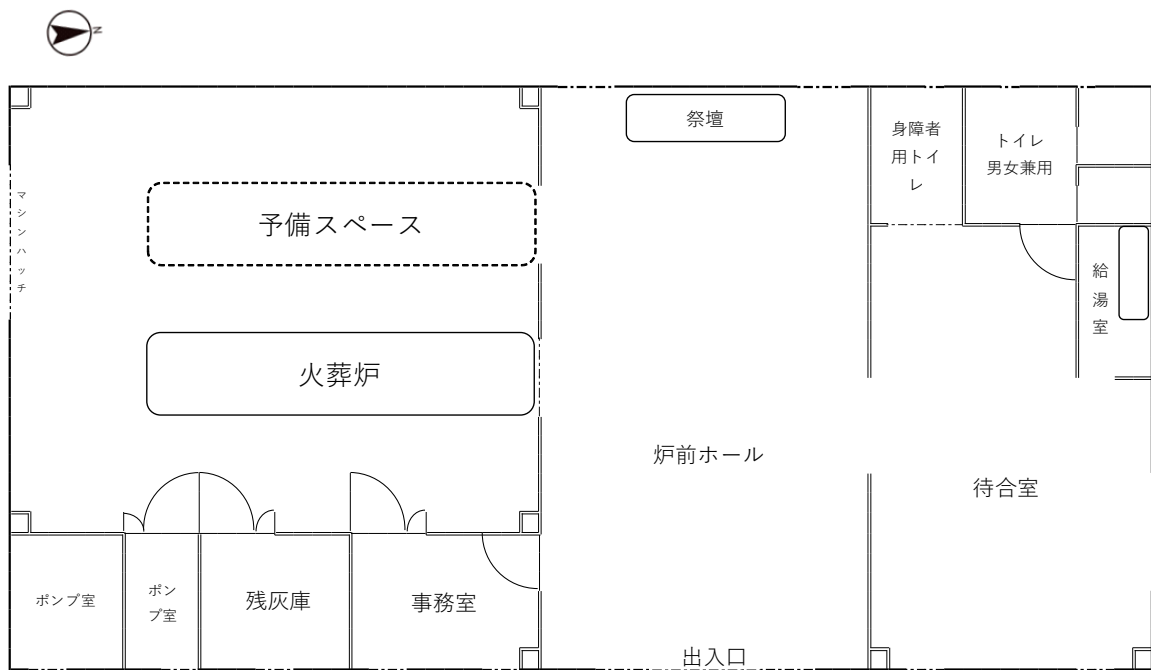


図 6 光寿苑簡易平面図

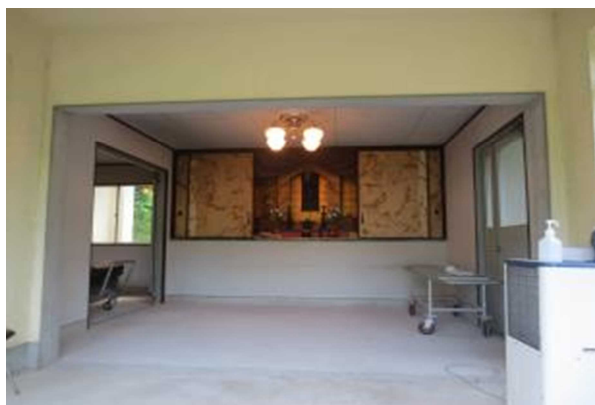
3) 浄寿苑



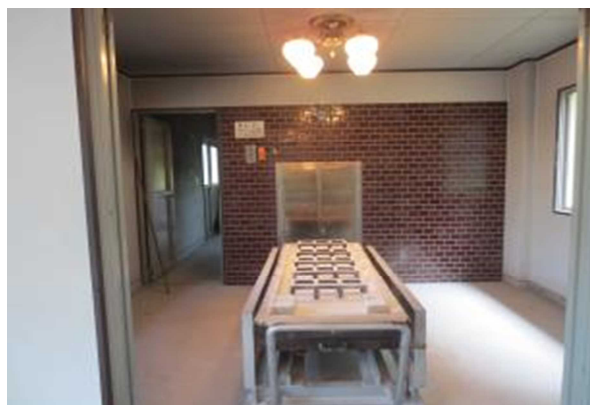
建物外観



火葬棟入口



入口告别ホール



炉前ホール

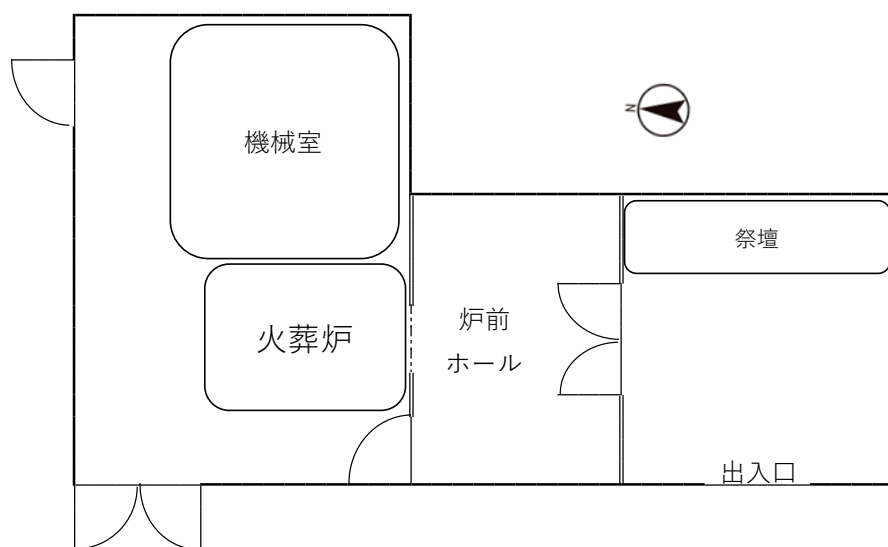


図7 浄寿苑簡易平面図

(2) 火葬状況

1) 火葬場別の火葬件数の推移

平成 30 (2018) 年度から令和 4 (2022) 年度までの、火葬場別にみた火葬件数の 5 年間推移は表 2 のとおりです。

表 2 火葬場別にみた火葬件数の推移

	慈光苑 (千代田)	光寿苑 (豊平)	浄寿苑 (芸北)	町外火葬場	合計
平成 30 (2018) 年度	189 件	59 件	37 件	37 件	322 件
令和元 (2019) 年度	213 件	59 件	38 件	30 件	340 件
令和 2 (2020) 年度	150 件	45 件	29 件	37 件	261 件
令和 3 (2021) 年度	188 件	63 件	35 件	38 件	324 件
令和 4 (2022) 年度	279 件	14 件 (休止期間有)	15 件 (休止期間有)	36 件	344 件

火葬件数は年度によって増減がみられます。火葬場別でみると、慈光苑で約 185 件、光寿苑で約 55 件、浄寿苑で約 35 件、その他、町外にある火葬場の利用が約 35 件となり、年間約 310 件程度の火葬件数となります。令和 4 (2022) 年度で、光寿苑と浄寿苑で件数が減少したように見えるのは、光寿苑は 7 月～3 月まで、浄寿苑は 10 月～1 月まで工事により休止していたためです。

いずれの年度も火葬件数を月平均とすると、慈光苑は約 16 件となりますが、光寿苑と浄寿苑については、1 桁ほどと、非常に低い稼働率になっていることがわかります。

2) 地域別にみた火葬場別の利用件数

令和 3 (2021) 年度と令和 4 (2022) 年度における利用者の地域別と火葬場別にみた利用件数は表 3 のとおりです。

表 3 地域別にみた火葬場別の利用件数

	慈光苑(千代田)		光寿苑(豊平)		浄寿苑(芸北)	
	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)	令和 3 年度 (2021 年度)	令和 4 年度 (2022 年度)
芸北地域	7 件	24 件	5 件	2 件	30 件	15 件
大朝地域	40 件	33 件	0 件	0 件	0 件	0 件
千代田地域	124 件	171 件	1 件	0 件	1 件	0 件
豊平地域	11 件	43 件	53 件	12 件	0 件	0 件
町外	6 件	8 件	4 件	0 件	4 件	0 件
合計	188 件	279 件	63 件	14 件	35 件	15 件

千代田地域と大朝地域に居住する利用者は主に慈光苑を利用し、豊平地域は光寿苑、芸北地域は浄寿苑と、火葬場がある同地域に居住する人が利用していることがわかります。光寿苑と浄寿苑については、令和 4 (2022) 年度は休止期間があったため、その期間は慈光苑を利用されています。

3) 火葬場別の補修状況

平成30(2018)年度から令和4(2022)年度までの、火葬場別にみた5年間の補修費の状況は表4のとおりです。また、北広島町公共施設等総合管理計画個別施設計画(令和2年10月)をもとにした、火葬場別の今後の補修見込みは表5のとおりです。

表4 火葬場別にみた補修費の状況

(単位：千円)

年度	慈光苑	光寿苑	浄寿苑	合計	
平成30(2018)年度		パッケージコントローラー修繕 主燃焼室左右壁及び蓄熱アーチレンガ積替等	4,169 再燃焼室筒管の積替	1,080 5,249	
令和元(2019)年度	和室改修	755		755	
令和2(2020)年度	火葬炉台車更新(1基分)	1,485	耐火台車上下部取替 ガス冷却室部材取替	2,596 耐火台車上下部取替	1,078 5,159
令和3(2021)年度	火葬炉台車更新(1基分)	1,681		1,681	
令和4(2022)年度	火葬炉シーケンサ更新	4,345	排気筒・再燃バーナー・誘引排風機の修繕工事	7,367 誘引排風機・吸込側伸縮継手一式取替 再燃焼バーナー一式取替	1,119 12,831
合計		8,266	14,132	3,277 25,675	

表5 火葬場別にみた補修費の見込み

(単位：千円)

年度	慈光苑	光寿苑	浄寿苑	合計	
令和5(2023)年度	電動台車更新	1,870	断熱扉取替 台車運搬車取替	2,860 誘引排風機取替 供給ポンプ取替	4,070 8,800
令和6(2024)年度	主燃焼室内張替(1基分) 再燃焼室内張替(1基分) 火葬炉台車ブロック更新(1台分) 通期設備オーバーホール	7,425	主燃焼室耐火物全面補修 再燃焼室セラミックス張替及び絞り機構取替	5,500 主燃焼室耐火レンガ積替 再燃焼室筒管取替	2,090 15,015
令和7(2025)年度	主燃焼室内張替(1基分) 再燃焼室内張替(1基分) 火葬炉台車ブロック更新(1台分)	1,925	真空プロア取替 残骨灰処理装置用集塵ろ布及びモーター取替 前室冷却ダンパー用パワーシリンダー取替 集塵フィルター取替	3,300 耐火台車上下部取替	770 5,995
合計		11,220	11,660	6,930 29,810	

※出展 令和2年10月 北広島町公共施設等総合管理計画個別施設計画より

(3) アンケートの実施について

本町の火葬場基本方針の策定にあたり、幅広い視点から火葬場のあり方を検討する参考資料を得ることを目的として、施設のイメージや機能についてアンケート調査を実施しました。
※アンケートの実施方法と集計結果の分析は、資料を参照ください。

1) アンケートの結果からわかる現状と課題

アンケートで、利用したことのある火葬場に関して感じた点について自由記述を求めました。その中で、利用したことのある火葬場が1か所しかない人の回答を抽出し集計しました。火葬場に対するイメージは、概ね自然が豊かな環境にあることが挙げられていますが、施設については、慈光苑以外古くて狭いイメージがあることがわかります。

表6 アンケート結果からわかる各火葬場へのイメージ

	慈光苑 (千代田)	光寿苑 (豊平)	浄寿苑 (芸北)
良い点	葬儀場から近い 自然が豊か 建物がきれい 静かな環境	葬儀場から近い 自然が豊か	葬儀場から近い 交通の便が良い
悪い点	待合室が狭い 駐車場が狭い 遠い 周囲が暗い	道が狭い 建物が狭い 待合室がない 建物が古い	古い 狭い 待合室がない

2) アンケートの結果からわかるニーズ

火葬場に設けて欲しい機能についての設問に対しては、「待合ロビー」、「個室の待合室」、「誰でもトイレ」の順に回答の割合が高くなっていました。

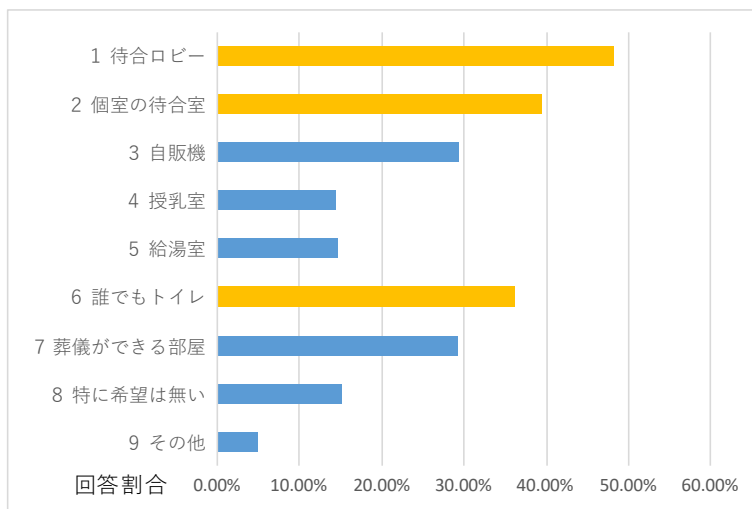


図8 火葬場に設けて欲しい機能

図8を年齢別に示したのが図9です。

待合室等を希望する声はどの年代でも高いですが、若年層からは自動販売機の設置を希望する声が多いことがわかります。

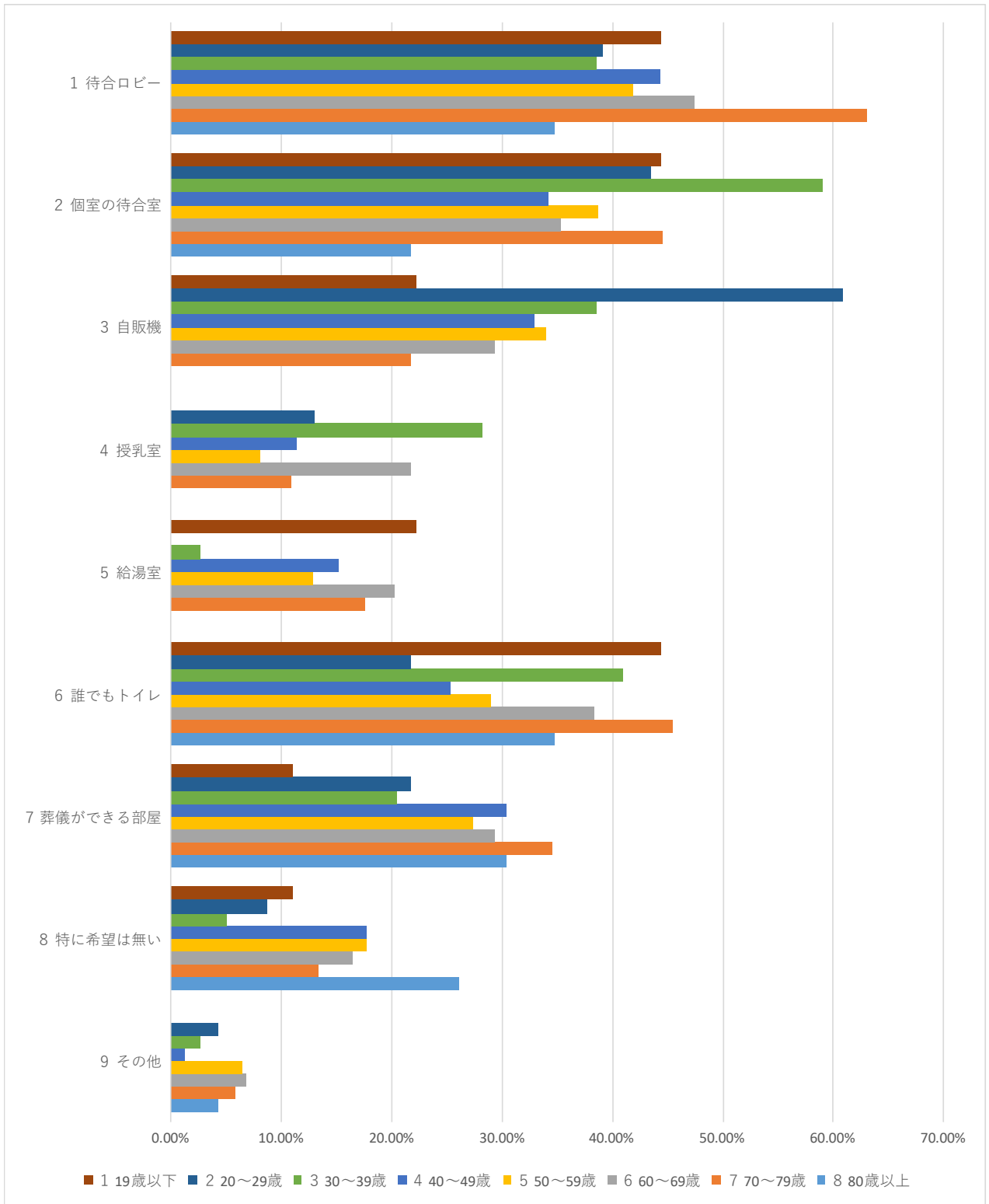


図9 年齢別にみた火葬場に設けて欲しい機能

(4) 必要炉数

1) 必要炉数算出の一般的な考え方

火葬場は生活に関わる重要な都市施設として都市計画決定の対象施設に位置付けられているにもかかわらず、その建設、運営は地方自治体に任されており、国からの施設整備に関する直接の補助金はありません。

そのため、施設内容、建築、設備、火葬炉設備については特段基準のない施設であります、一般的に火葬場の規模は、火葬炉数で表現されています。

各自治体は独自に人口予測を行い、将来の死亡者数を基に定めた運営方針から必要な火葬炉数を導き出すこととなりますが、基準となる正式な火葬炉数の算定式はありません。

火葬炉数の算定方法は、一般的に次のように求められます。

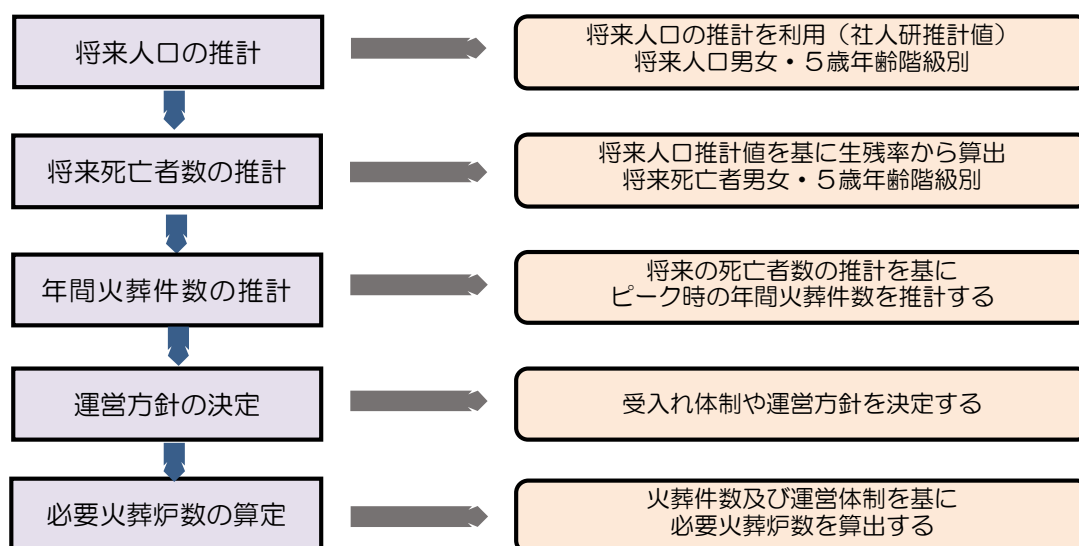


図 10 火葬炉数算出のフロー

2) 死亡者数の推計

社人研推計では、男女・年齢（5歳）階級別に市区町村別の将来の生残率も公表されることから、生残率をもとに、5年ごとの死亡者数を算出し、年間の平均としたものが図11です。

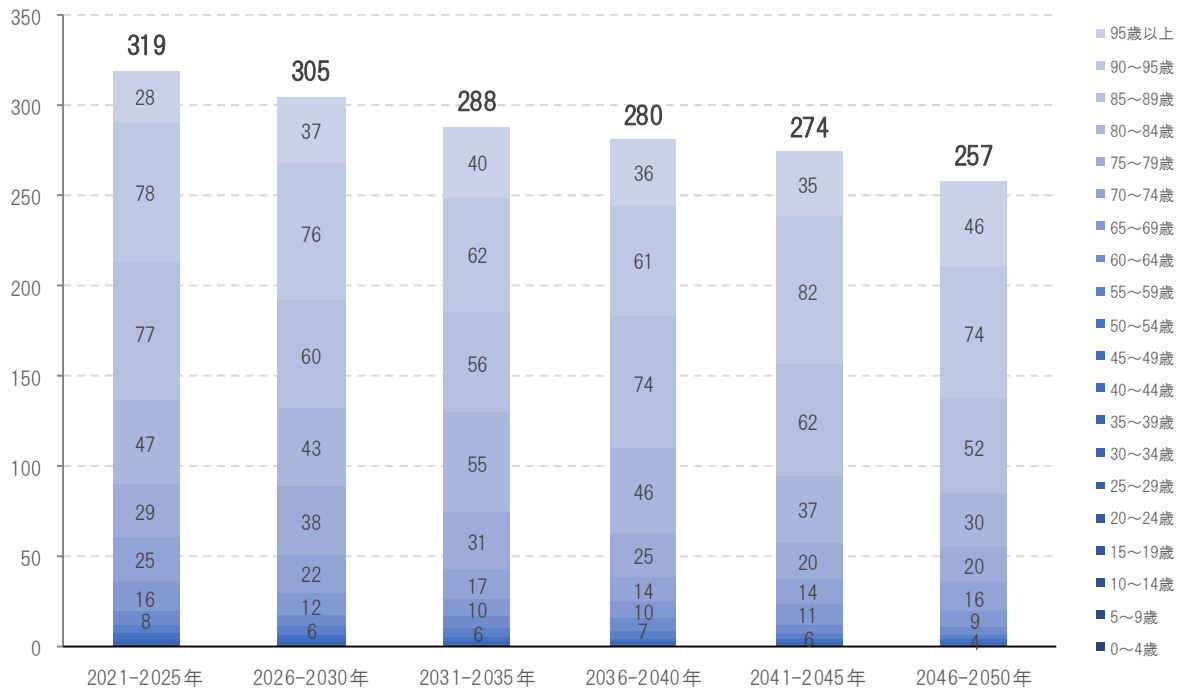


図11 死亡者数推計値

死亡者数の推計結果をみると、現在が死亡者数のピーク期で、既に減少段階に入っていることがわかります。2021年～2025年の平均死亡者数319人に対して、2046年～2050年は257人になると推計されています。

3) 必要な火葬炉数

死亡者数の推計から、稼働日平均の火葬件数は1件程度であり、現在が火葬件数のピークとなることから、今後は火葬件数が減少していくと予想されます。火葬炉数は一般的に死亡者数のピーク時における稼働日平均の火葬件数で考えます。

火葬炉が2基あれば、1日で最大4件の火葬を行うことができ、今後の火葬件数をまかなうことができると考えられます。午前と午後それぞれ2件の受け入れをして稼働すると想定した火葬タイムスケジュールは図12のとおりです。

告別	炉前	収骨	火葬炉	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00
								1件												
			1					火葬		収骨準備	片付			火葬		収骨準備	片付			
			2			火葬		収骨準備	片付			火葬		収骨準備	片付					
																				計4件

図12 想定する火葬タイムスケジュール

(1) 各火葬場に係る課題

1) 人口減と高齢化

死亡者数は毎年300人程度で推移していますが、令和2(2020)年の人口は1万7,763人と、15年前の平成17(2005)年と比較して約3,000人減少しており、高齢化率は38.9%と、15年前の2005年と比較して約5%上昇しています。今後も人口の減少や高齢化率の上昇が予想されます。また人口の減少率について、平成26(2014)年に対して、令和5(2023)年では、全町では88.1%ですが、地域差が大きく、千代田地域が93.9%、大朝地域が85.0%、豊平地域が81.8%で、芸北地域が77.0%となっており、地域間での人口の差が広がることが想定されます。各火葬場の利用者は同地域に居住する方がほとんどで、特に人口減が進む光寿苑と浄寿苑をどうしていくかが課題として想定されます。

2) 火葬場の稼働率の低さと維持管理費

年間約300人の死亡者数に対して、3か所の火葬場で火葬を行っており、年間の火葬件数として、慈光苑で約185件、光寿苑で約55件、浄寿苑で約35件、光寿苑と浄寿苑の稼働率が極端に低くなっています。いずれも小規模で慈光苑を除き設置後20年以上が経過しています。施設全般に老朽化が進んでおり、補修費等の費用負担も増えています。

(2) 施設の維持・整備パターンについて

現在火葬場が抱えている課題に対して、次の3つの整備パターンを検討しました。なお、次の表の金額は20年間のランニングコストです。

表7 整備パターンの概要と想定される費用について

タイプ	概要
ケース1	3つの火葬場に長寿命化対策を実施する。 浄寿苑は建て替える。
ケース2	慈光苑に統合し、待合スペースを整備する。 浄寿苑、光寿苑は閉鎖する。
ケース3	新規火葬場を建設する。 既存の火葬場は全て閉鎖する。

(千円)

施設パターン		経費項目	ケース1	ケース2	ケース3
浄寿苑 (芸北)	昭和51年建設 延床面積93㎡ 火葬炉1基	火葬炉数(基)	1	廃止(R8)	廃止(R8)
		運営費(千円)	9,920	1,240	1,240
		委託費(千円)	25,376	3,172	3,172
		霊柩車運行(千円)	7,392	924	924
		建物修繕費(千円)	9,000	2,400	2,400
		火葬炉修繕費(千円)	15,586	1,172	1,172
		改修等費用(千円)	326,700	0	0
		合計	393,974	8,908	8,908
慈光苑 (千代田)	平成20年建設 延床面積289㎡ 火葬炉2基	火葬炉数(基)	2	2	廃止(R11)
		運営費(千円)	41,055	48,300	15,379
		委託費(千円)	91,877	132,701	29,081
		霊柩車運行(千円)	28,128	39,216	10,416
		建物修繕費(千円)	19,600	24,600	2,000
		火葬炉修繕費(千円)	60,260	73,960	12,342
		改修等費用(千円)	281,610	135,724	0
		合計	522,530	454,501	69,218
光寿苑 (豊平)	平成9年建設 延床面積209㎡ 火葬炉1基	火葬炉数(基)	1	廃止(R8)	廃止(R8)
		運営費(千円)	16,656	2,082	2,082
		委託費(千円)	21,280	2,660	2,660
		霊柩車運行(千円)	5,280	660	660
		建物修繕費(千円)	9,500	64	64
		火葬炉修繕費(千円)	16,393	2,262	2,262
		改修等費用(千円)	179,750	0	0
		合計	248,859	7,728	7,728
新火葬場	令和9年建設 延床面積700㎡ 火葬炉2基	火葬炉数(基)			2
		運営費(千円)			52,164
		委託費(千円)			97,788
		霊柩車運行(千円)			28,800
		建物修繕費(千円)			13,000
		火葬炉修繕費(千円)			28,900
		改修等費用(千円)			858,495
		合計			1,079,147
維持管理運営費合計(千円)			1,165,363	471,137	1,165,001

※運営費の想定推移については資料を参照してください。

各ケースの課題点を次のように整理しました。

ケース1のように3火葬場を運営していくと、慈光苑、光寿苑それぞれで大規模改修が必要になり、浄寿苑については建て替えを実施する必要があり、金額的に負担が大きくなります。また、3火葬場で合わせて4炉を配備することになり、北広島町の人口規模で考えると過剰な火葬場設備となってしまいます。

ケース2のように、慈光苑に統合し、浄寿苑・光寿苑を廃止すると、一部地域から火葬場までの距離は遠くなります。慈光苑の待合スペースも十分とはいえません。

ケース3の既存の火葬場を廃止し、新火葬場に統合すると、新たな用地の確保が必要となり、用地費、インフラ整備費、造成費等、現時点でどれほどの規模になるか定かではありません。また、慈光苑が比較的新しいため（平成20年建築）、廃止するのは早計とも考えられます。

(1) 想定される施設機能

一般的に、火葬場の整備にあたっては、高齢化の進展に伴う将来の火葬需要に対応できる施設能力を備えるとともに、現在の葬送習慣を的確に捉えつつ、葬送形態の多様化など新たなニーズにも対応できる施設機能を検討する必要があります。

また、火葬場が持つ従来のイメージの払拭を心掛けるとともに、亡くなられた方と最後の別れの時を過ごす大切な空間を意識することや、アンケートの結果からわかる住民のニーズを取り入れることも必要であると考えます。

なお、検討委員会の中で、葬儀場併設の重要度は低いことと、動物炉は可能なら設置できればいいという意見があがりました。

北広島町の火葬場に必要と想定するおもな機能は表8のとおりです。

表8 北広島町の火葬場に必要と想定する機能

名称		必要想定機能
火葬施設	車寄せ	
	エントランスホール	
	告別室(告別ホール)	一体 (1室)
	炉前ホール	
	収骨室	
	事務室	
	火葬炉監視室	
	更衣室・職員便所	
	台車置場	
	ポンプ室	燃料が灯油の場合
	残灰室	
	火葬炉設備	2基
	待合施設	待合室
待合ロビー		
自動販売機		
湯沸室		
男女便所		
多目的便所		
その他		授乳室、更衣スペース等多目的に使用

(2) 候補地選定の進め方

既設火葬場の増改築や新規建設など幾つかのケースが想定されますが、表8の機能を備えた新たな火葬場を建設する場合の建物の面積は約700㎡、最低限必要な敷地面積は約3,000㎡と想定されます。

また、既設火葬場の立地状況や各地域からの利便性を考慮した新たな場所が必要となります。

(3) 候補地選定の条件案

火葬場の候補地選定に当たっては、関係法令は元より、次のとおり考慮すべき諸条件があります。候補地選定にあたり想定される条件等は以下のとおりです。

[自然環境条件]

- ・土地（地形、地質、地盤、地勢等の条件）
- ・周辺環境（風向き等の影響、景観上の調和）

例えば、火葬場の建設に支障のないよう、平坦地が確保できることや、地盤が安定していること等。

[社会的条件]

- ・関係法令（土地利用関係法令等による規制等）
- ・周辺の土地利用

例えば、多数の人が集合する地から200メートル以上離れていること。

[その他の条件]

- ・道路交通環境（周辺の道路・交通条件、幹線道路からのアクセス性）
- ・インフラ整備状況（上下水道、ガス等）
- ・地域性（住宅地からの距離等）

例えば、住民がどこからでも利用しやすいように町内中心位置又は人口重心に近い位置や、車での利用を想定し、今後整備される道路も含めてアクセスを考慮すること等。

候補地のイメージを整理すると次の通りとなります。

- ①敷地からの景観が優れた場所（例：豊かな田園や象徴的な山などが望める）
- ②周辺の環境緑地が確保されやすい場所
- ③会葬者が集まりやすいように幹線道路等からのアクセスに優れた場所
- ④水源地となっていない場所
- ⑤地すべり、出水等災害のおそれの少ない場所
- ⑥町内中心位置又は人口重心を考慮した場所

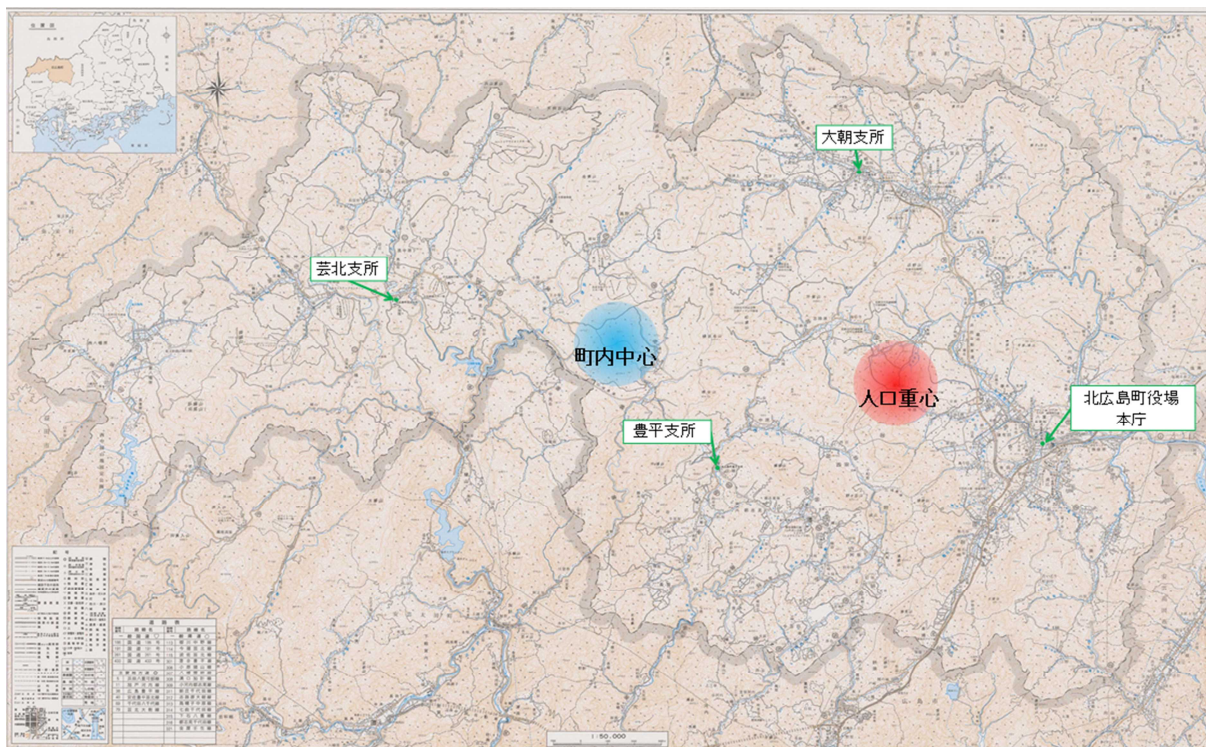


図 13 町内中心及び人口重心

※町内中心とは

北広島町の北端と南端の緯度の中間点と、東端と西端の経度の中間点です。北広島町の地理的な中心点と考えられます。

※人口重心とは

人口の1人1人が同じ重さ（体重）を持つと仮定して、その地域内の人口が、全体として平衡を保つ（バランスが取れる）ことのできる点をいいます。住んでいる人口に対する中心点になります。利便性の評価として、公共施設の適切な配置などの行政施策などに活用されています。

(4) 候補地の検討

新たに火葬場を建設するのであれば、その場所を選定した理由が住民の理解を得られることが条件としてあげられます。

実施した住民アンケートでは、葬儀会場や自宅からの距離が近いことや、交通の便がよいこと、十分な広さの駐車場があることを望む声が多く寄せられました。

また、検討を重ねる中で、町有地を活用する方が望ましいという意見になりましたが、現段階では、町内中心、人口重心に位置する敷地 3,000 m²程度の町有地は見つかりませんでした。

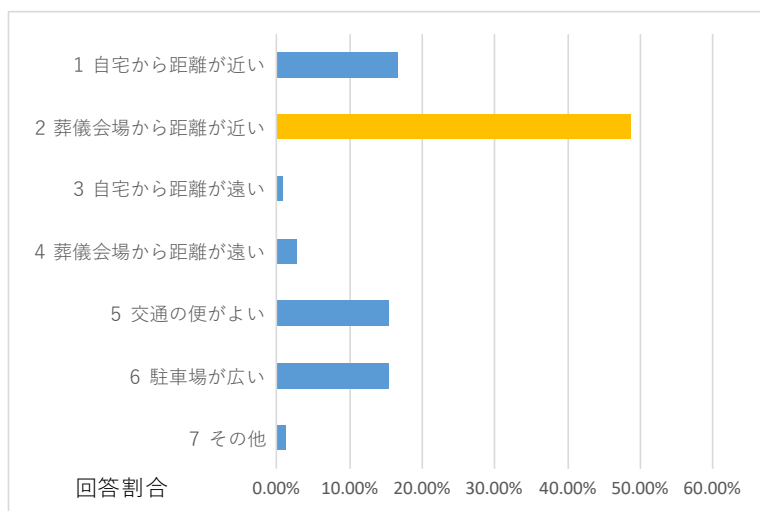


図 14 火葬場の立地に求める優先度

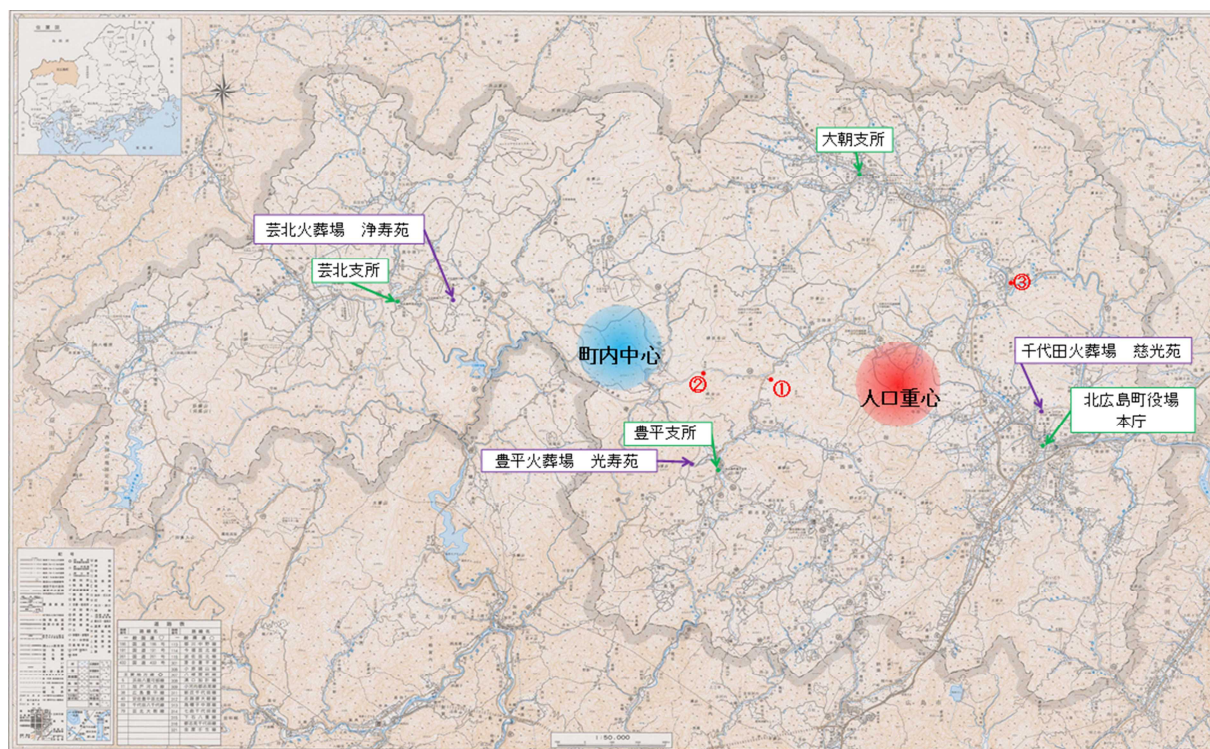


図 15 検討した町有地位置図

第5章 火葬場整備方針

(1) 整備方針案

今後の維持管理経費や火葬件数、北広島町に必要な火葬炉数を見込んだとき、将来にわたって3施設を維持していくことは困難と思われます。

このことから、第3章(2)で示した整備パターンのうち、慈光苑に集約する案と、新たに火葬場を建設する2案が候補にあがりましたが、第4章(4)のとおり、候補地選定の条件に合う町有地がなく、当面の間、慈光苑の待合環境等を整備した上で、光寿苑と浄寿苑の2施設を閉鎖し、慈光苑に集約して次のとおり火葬を行うことを方針とします。

○理由

- ・慈光苑の施設は比較的新しく、当分の間、待合室等の環境整備以外大きな修繕がなく使えること
- ・町内で必要な炉数(2炉)を備えていること
- ・火葬件数が多く、多数の利用者の利便性が確保できること
- ・高速道路等の交通網が整備されており利用者の利便性が高いこと
- ・慈光苑の改修については、既存の場所であることから周辺住民の理解が得やすいこと
- ・新築と比較して大幅にコストが削減できること

将来的に、慈光苑の設備の大規模更新や老朽化等による施設の建替が必要となる時期において、新たな火葬場の設置に向けての協議・検討を行うこととします。

想定する整備スケジュールは図16のとおりです。

図16 想定する整備スケジュール



※火葬炉の耐用年数を30年で想定

※慈光苑の改修が終わった時点で、浄寿苑・光寿苑の火葬場は閉鎖予定

※浄寿苑及び光寿苑で大きな修繕があれば時期を待たずに順次閉鎖する

(2) 慈光苑改修イメージ

施設改修については、遠距離利用者が火葬終了までの間を快適に過ごせる待合環境を整備することを基本に行うものとします。

アンケート結果による待合ロビーの整備、個室の待合室や自動販売機の設置などを想定した改修案イメージを策定しました。火葬炉設備はそのまま使用します。(図 17)

【改修概要】

敷地面積 1,494.94 m²(既存) 500 m²(新規造成)

床面積 289.27 m²(既存) 58.50 m²(増築)

改修面積 80.60 m²

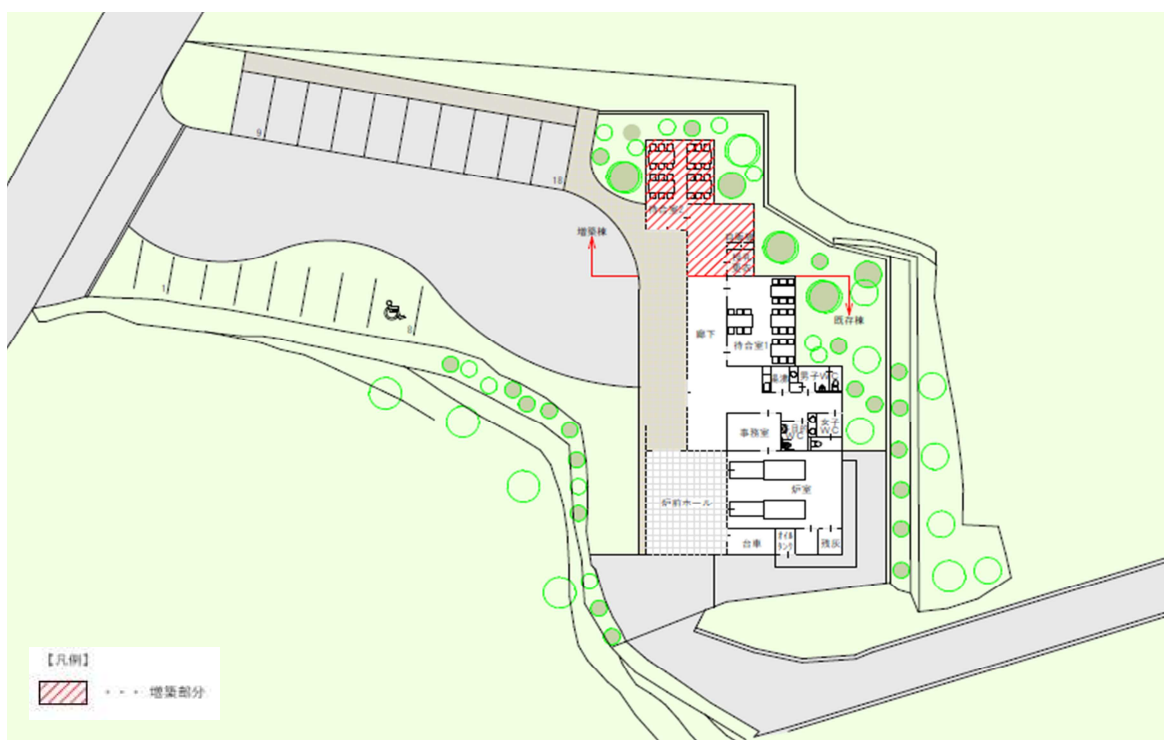


図 17 慈光苑改修イメージ図

表 9 慈光苑改修案工事費試算

工事種目	数量	金額	備考
増築工事	58.5 m ²	43,875,000	
大規模改修工事	80.6 m ²	28,210,000	
火葬炉更新工事	0.0 式	0	
外構工事	250.0 m ²	5,000,000	
造成工事	500.0 m ²	40,000,000	
設計監理料	1 式	6,300,000	
計		123,385,000	
消費税		12,338,500	
合計		135,723,500	土地取得費は含まず

資料編

資料1 委員名簿

資格	所属	氏名	備考
地域の代表者	芸北地域協議会	下杉 美智	
地域の代表者	芸北地域協議会	小笠原 幸信	2023年12月14日まで
地域の代表者	芸北地域協議会	村口 章博	2023年12月15日から
地域の代表者	大朝地域協議会	中屋原 薫	
地域の代表者	大朝地域協議会	佐伯 節美	
地域の代表者	千代田地域協議会	大下 正則	
地域の代表者	千代田地域協議会	渡邊 文恵	
地域の代表者	豊平地域協議会	京田 眞由美	
地域の代表者	豊平地域協議会	多川 孝之	
葬儀・火葬関係者	有限会社総合企画コーポレーション	松田 直志	
葬儀・火葬関係者	ひろしま農業協同組合	松本 厚史	
葬儀・火葬関係者	株式会社パブリック	土佐 一幸	
葬儀・火葬関係者	豊平葬祭株式会社	山上 尚子	
知識経験を有する者	安田女子大学教授	安東 直紀	委員長
その他認める者	北広島町副町長	畑田 正法	副委員長

資料2 策定経過

年	月 日	内 容	備 考
5	8月29日	第1回検討委員会	諮問 火葬場の現状と課題点等について
	9月29日	近隣火葬場の視察	安芸高田市火葬場（あじさい聖苑）の視察
	10月13日	第2回検討委員会	視察の振り返り アンケート速報結果について 火葬場の運営費の推移について
	12月15日	第3回検討委員会	整備方針の検討
6	2月20日	第4回検討委員会	火葬場整備基本計画（案）の検討 答申

資料3 諮問書及び答申書

(1) 諮問

5-北環第100号
令和5年8月29日

北広島町火葬場整備検討委員会
委員長 安東 直紀 様

北広島町長 箕野 博司

北広島町火葬場整備基本計画の策定について（諮問）

北広島町火葬場整備基本計画の策定にあたり、北広島町火葬場整備検討委員会設置要綱第2条の規定に基づき、貴委員会の意見を求めます。

(2) 答申

令和6年2月20日

北広島町長 箕野 博司 様

北広島町火葬場整備検討委員会
委員長 安東 直紀

北広島町火葬場整備基本計画の策定について（答申）

令和5年8月29日付け5-北環第100号で諮問のありました、北広島町火葬場整備基本計画の策定につきましては、4回の火葬場整備検討委員会を開催し、検討を重ねてまいりました。

本委員会では、現在の火葬場のあり方について、近年の葬送習慣の変容や人口減少、また老朽化に伴う施設の維持などから長期的なビジョンを見据えて検討をした結果、火葬場を町内1か所に集約することとして、北広島町火葬場整備基本計画を策定しましたのでここに答申します。

なお、貴職におかれましては、この計画の検討過程で委員の方々より出た意見等を十分に尊重され、健全な火葬場運営と目標が達成できるよう、最善の努力をされることを申し添えます。

(1) アンケート調査の概要

1) 調査目的

火葬場は、「地域による分け隔て」なく、誰もが等しく受益できるものです。北広島町の年間火葬件数は約300件ですが、現状の3施設計4基の火葬炉設置は、件数に対して稼働率の低さや効率面、維持管理など課題が生じています。そのため、北広島町では今後の火葬場のあり方を考えるため、北広島町火葬場整備検討委員会を設置し、北広島町火葬場整備基本計画の策定を進めることとしました。

その中で住民意見を参考にするためのアンケート調査を実施し、幅広い視点から「北広島町の火葬場のあり方」を検討する、参考資料を得ることが目的です。

2) 調査方法

① 調査地域 北広島町全域

② 調査方法 紙アンケート

500件は人口と年齢の割合から各地域への配布数を算出し、郵送にて実施しました。

芸北地域 11%、大朝地域 15.2%、千代田地域 56.6%、豊平地域 17.2%に配布しました。

インターネット回答

北広島町LINEに登録者4,907人を対象。

③ 回答数 紙回答 254件 (50.8%)

インターネット回答 233件 (4.7%)

④ 調査時期 令和5年9月19(火)～10月3日(火) (10月18日(水)回収分まで含む)

3) 集計方法

- ・紙回答とネット回答で、年齢と住まいの地区に多少差がみられますが、性別はほぼ同じ状況でした。個別に分析するには、それぞれのサンプル数が少ないことと、傾向は大きく変わらないと思われるため、紙回答とネット回答を合算して分析することとしました。特に補正は行わず集計します。
- ・質問回答に対し「3つ」や「1つ」に回答することであっても、紙アンケートでは指定回答数以上の回答がみられたため、合計が合わない間があります。

(2) 調査結果

1) 紙回答とネット回答の属性比較

問1 あなたの年齢をお伺いします。

紙回答は、「80歳以上」の回答がネット回答より回答数が多く、幅広い年代から回答を得ましたが、ネット回答は逆に低くなっています。また「60～69歳」「70～79歳」の年齢が多くなっていました。

年齢	合計		紙回答		ネット回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 19歳以下	9	1.8%	8	3.1%	1	0.4%
2 20～29歳	23	4.7%	20	7.9%	3	1.3%
3 30～39歳	39	8.0%	14	5.5%	25	10.7%
4 40～49歳	79	16.2%	37	14.6%	42	18.0%
5 50～59歳	62	12.7%	37	14.6%	25	10.7%
6 60～69歳	133	27.3%	58	22.8%	75	32.2%
7 70～79歳	119	24.4%	58	22.8%	61	26.2%
8 80歳以上	23	4.7%	22	8.7%	1	0.4%
合計	487	100.0%	254	100.0%	233	100.0%

問2 あなたの性別をお伺いします。

男女比については、紙回答とネット回答ともほぼ同じ比率でした。

性別	合計		紙回答		ネット回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 男性	249	51.1%	130	51.2%	119	51.1%
2 女性	236	48.5%	124	48.8%	112	48.1%
3 その他	2	0.4%	0	0.0%	2	0.9%
合計	487	100.0%	254	100.0%	233	100.0%

問3 あなたのお住まいの地区をお伺いします。

紙回答は、「芸北地域」「大朝地域」がやや多いが、ネット回答では「千代田地域」「豊平地域」がやや多くなっていました。

お住まいの地区	合計		紙回答		ネット回答	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 芸北地域	66	13.6%	42	16.5%	24	10.3%
2 大朝地域	85	17.5%	47	18.5%	38	16.3%
3 千代田地域	241	49.5%	119	46.9%	122	52.4%
4 豊平地域	94	19.3%	45	17.7%	49	21.0%
無回答	1	0.2%	1	0.4%	0	0.0%
合計	487	100.0%	254	100.0%	233	100.0%

2) 年齢と地区の関係

地区と年齢との関係を見ると、地区によって回答年齢の割合の違いがみられます。

- ・「芸北地域」は「70～79歳」の回答割合が他の地区より大幅に少なかったです。
- ・「大朝地域」はあまり差がなかったです。
- ・「千代田地域」は「19歳以下」「20～29歳」の若年層と「50～59歳」の回答割合が少なかったです。
- ・「豊平地域」は「70～79歳」の割合が高く、「30～39歳」「60～69歳」の割合が低かったです。
- ・「千代田地区」と比べ他の地区は若年層の回答割合が多くなっています。

年齢	1 19歳以下	2 20～29歳	3 30～39歳	4 40～49歳	5 50～59歳	6 60～69歳	7 70～79歳	8 80歳以上	合計
1 芸北地域	2 3.0%	4 6.1%	6 9.1%	10 15.2%	9 13.6%	22 33.3%	9 13.6%	4 6.1%	66 100.0%
2 大朝地域	3 3.5%	3 3.5%	5 5.9%	14 16.5%	13 15.3%	19 22.4%	24 28.2%	4 4.7%	85 100.0%
3 千代田地域	3 1.2%	9 3.7%	25 10.4%	41 17.0%	25 10.4%	75 31.1%	52 21.6%	11 4.6%	241 100.0%
4 豊平地域	1 1.1%	6 6.4%	3 3.2%	14 14.9%	15 16.0%	17 18.1%	34 36.2%	4 4.3%	94 100.0%
無回答		1 100.0%							1 100.0%
合計	9 1.8%	23 4.7%	39 8.0%	79 16.2%	62 12.7%	133 27.3%	119 24.4%	23 4.7%	487 100.0%

年齢と地区の関係を更に回答方法別にみてみます。

回答数が高い50～59歳では、「芸北地域」と「大朝地域」で紙回答の割合が特に多くなっています。

「芸北地域」では「70～79歳」で紙回答の割合が特に多くなっています。

	回答方法	1 19歳以下	2 20～29歳	3 30～39歳	4 40～49歳	5 50～59歳	6 60～69歳	7 70～79歳	8 80歳以上
1 芸北地域	紙回答	2	3	3	6	7	10	8	3
	ネット回答		1	3	4	2	12	1	1
2 大朝地域	紙回答	3	3	3	5	10	9	10	4
	ネット回答			2	9	3	10	14	
3 千代田地域	紙回答	2	8	6	19	14	31	28	11
	ネット回答	1	1	19	22	11	44	24	
4 豊平地域	紙回答	1	5	2	7	6	8	12	4
	ネット回答		1	1	7	9	9	22	
無回答	紙回答		1						

紙回答とネット回答数での地区別や年齢別では回答状況の違いがほとんどないため、紙回答とネット回答をまとめて集計するものとします。

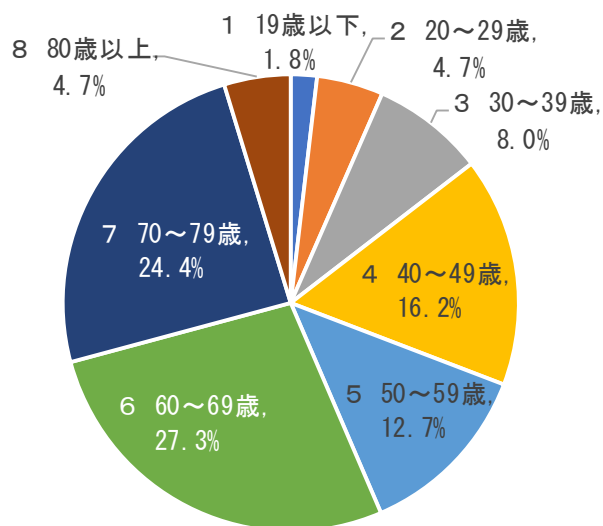
3) 項目別集計

問1 あなたの年齢をお伺いします。

最も多いのが、「60～69歳」の27.3%、次いで「70～79歳」の24.4%、「40～49歳」の16.2%で「19歳以下」は1.8%とかなり少なかったです。

【回答者の年齢】

年齢	回答数	割合
1 19歳以下	9	1.8%
2 20～29歳	23	4.7%
3 30～39歳	39	8.0%
4 40～49歳	79	16.2%
5 50～59歳	62	12.7%
6 60～69歳	133	27.3%
7 70～79歳	119	24.4%
8 80歳以上	23	4.7%
合計	487	100.0%

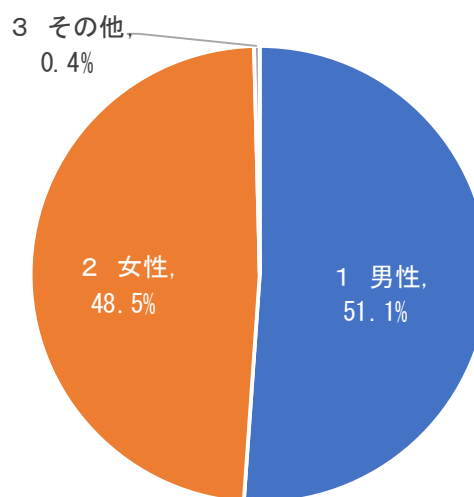


問2 あなたの性別をお伺いします。

「男性」が51.1%、「女性」が48.5%で、「その他」が0.4%でした。

【回答者の性別】

性別	回答数	割合
1 男性	249	51.1%
2 女性	236	48.5%
3 その他	2	0.4%
合計	487	100.0%

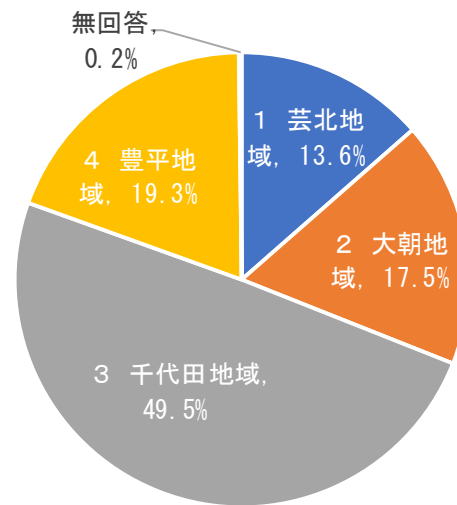


問3 あなたのお住まいの地区をお伺いします。

「千代田地域」が49.5%と半数近くを占め、次いで「豊平地域」が19.3%、「大朝地域」が17.5%、「芸北地域」が13.6%でした。

【回答者のお住まい】

お住まいの地区	回答数	割合
1 芸北地域	66	13.6%
2 大朝地域	85	17.5%
3 千代田地域	241	49.5%
4 豊平地域	94	19.3%
無回答	1	0.2%
合計	487	100.0%

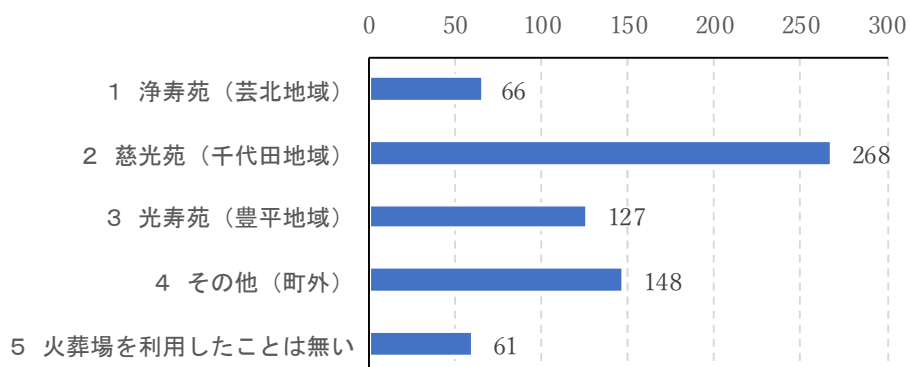


問4 火葬場の利用状況についてお伺いします。利用したことがある場合、1～4の火葬場すべてに○をしてください。

「慈光苑（千代田地域）」が最も多く268人で55.0%と半数以上が利用していました。次で「その他（町外）」が148人で30.4%、「光寿苑（豊平地域）」が127人で26.1%、「浄寿苑（芸北地域）」が66人の13.6%で、「火葬場を利用したことは無い」が61人の12.5%でした。

【利用した火葬場】

項目	回答数	割合
1 浄寿苑（芸北地域）	66	13.6%
2 慈光苑（千代田地域）	268	55.0%
3 光寿苑（豊平地域）	127	26.1%
4 その他（町外）	148	30.4%
5 火葬場を利用したことは無い	61	12.5%
合計	487	100.0%

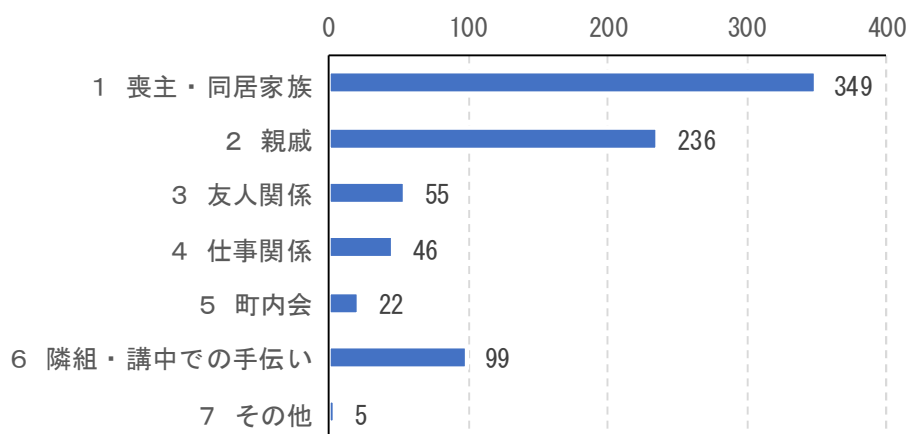


問5 どのような立場でご利用されましたか。(複数回答)

問4の火葬場を利用したことがある426人のうち、「喪主・同居家族」が349人で84.3%と最も多かったです。次いで、「親戚」が236人で57.0%、「隣組・講中での手伝い」も99人の23.9%でした。

【利用した立場】

項目	回答数	割合
1 喪主・同居家族	349	84.3%
2 親戚	236	57.0%
3 友人関係	55	13.3%
4 仕事関係	46	11.1%
5 町内会	22	5.3%
6 隣組・講中での手伝い	99	23.9%
7 その他	5	1.2%
該当者合計	426	102.9%

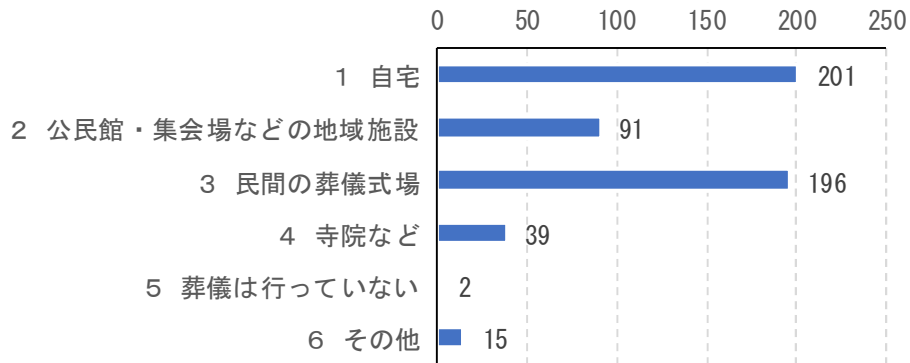


問6 葬儀(通夜・告別式等)は、どこで行いましたか。(どこで行いますか。)(複数回答)

問5の喪主・同居家族の349人のうち、「自宅」が201人の57.6%と最も多く、次いで「民間の葬儀式場」が196人の56.2%でした。

【葬儀(通夜・告別式等)の場所】

項目	回答数	割合
1 自宅	201	57.6%
2 公民館・集会場などの地域施設	91	26.1%
3 民間の葬儀式場	196	56.2%
4 寺院など	39	11.2%
5 葬儀は行っていない	2	0.6%
6 その他	15	4.3%
該当者合計	349	100.0%



○ 葬儀（通夜・告別式等）はどこで行いましたかについて、年齢別、性別別、地区別に分析を行いました。

① 年齢別

年齢別の状況をみると、回答数が多い40～79歳では、「50～59歳」と「70～79歳」で「民間の葬儀式場」が50%以下でした。

【年齢別の葬儀（通夜・告別式等）の場所】

年齢別	1 19歳以下	2 20～29歳	3 30～39歳	4 40～49歳	5 50～59歳	6 60～69歳	7 70～79歳	8 80歳以上	合計
回答数	4	6	17	53	43	106	106	14	349
1 自宅	0.0%	50.0%	17.6%	64.2%	58.1%	50.0%	72.6%	42.9%	57.6%
2 公民館・集会場などの地域施設	25.0%	33.3%	29.4%	22.6%	27.9%	34.9%	17.0%	28.6%	26.1%
3 民間の葬儀式場	75.0%	16.7%	76.5%	56.6%	46.5%	64.2%	49.1%	64.3%	56.2%
4 寺院など	0.0%	16.7%	23.5%	7.5%	14.0%	10.4%	9.4%	21.4%	11.2%
5 葬儀は行っていない	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
6 その他	0.0%	0.0%	17.6%	0.0%	2.3%	10.4%	0.0%	0.0%	4.3%

② 性別別

全体と比べ「男性」は「民間の葬儀式場」がやや高く、「自宅」がやや低くなっています。「女性」は「自宅」がやや高いが「民間の葬儀式場」はやや低くなっています。

【性別別の葬儀（通夜・告別式等）の場所】

性別	1 男性	2 女性	無回答	合計
回答数	186	161	2	349
1 自宅	103	96	2	201
	55.4%	59.6%	100.0%	57.6%
2 公民館・集会場などの地域施設	41	50		91
	22.0%	31.1%	0.0%	26.1%
3 民間の葬儀式場	106	90		196
	57.0%	55.9%	0.0%	56.2%
4 寺院など	22	17		39
	11.8%	10.6%	0.0%	11.2%
5 葬儀は行っていない		2		2
	0.0%	1.2%	0.0%	0.6%
6 その他	3	12		15
	1.6%	7.5%	0.0%	4.3%

③ 地区別

「芸北地域」は「公民館・集会場などの地域施設」が76.0%と最も多く、次いで「自宅」が58.0%でした。「大朝地域」は、「自宅」が最も多く61.5%、次いで「民間の葬儀式場」が51.9%でした。「千代田地域」は「民間の葬儀式場」が67.4%と最も多く、次いで「自宅」の47.7%でした。他の地区と比べて「自宅」は少なくなっています。

【地区別の葬儀（通夜・告別式等）の場所】

お住まいの地区	1 芸北地域	2 大朝地域	3 千代田地域	4 豊平地域	無回答	合計
回答数	50	52	172	75	0	349
1 自宅	29	32	82	58		201
	58.0%	61.5%	47.7%	77.3%	0.0%	57.6%
2 公民館・集会場などの地域施設	38	13	32	8		91
	76.0%	25.0%	18.6%	10.7%	0.0%	26.1%
3 民間の葬儀式場	14	27	116	39		196
	28.0%	51.9%	67.4%	52.0%	0.0%	56.2%
4 寺院など	5	6	22	6		39
	10.0%	11.5%	12.8%	8.0%	0.0%	11.2%
5 葬儀は行っていない			1	1		2
	0.0%	0.0%	0.6%	1.3%	0.0%	0.6%
6 その他			14	1		15
	0.0%	0.0%	8.1%	1.3%	0.0%	4.3%

問7 問4で利用した火葬場に関して感じた点がありましたらご記入ください。

問4の回答で利用したことのある火葬場について、1つしか利用経験のない人だけの回答を抽出しました（回答が多いものだけ掲載）。

1 浄寿苑（芸北地域）

良い点… 近い、交通の便が良い

悪い点… 古い、狭い、待合室が無い

2 慈光苑（千代田地域）

良い点… 近い、自然豊か、建物がきれい、静かな環境

悪い点… 小さい、駐車場が狭い、遠い、周囲が暗い

3 光寿苑（豊平地域）

良い点… 近い、自然豊か

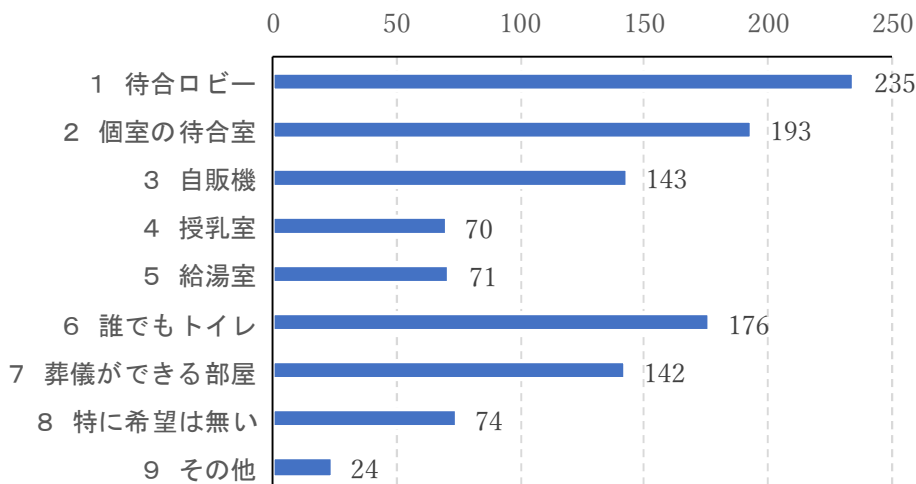
悪い点… 道が狭い、建物が狭い、待合室が無い、建物がやや古い

問8 火葬場に設けて欲しい機能は何ですか。（回答は3つまで）

「待合ロビー」が最も多く235人の48.5%、次いで「個室の待合室」が193人の39.6%、「誰でもトイレ」が176人の36.1%でした。

【火葬場に設けて欲しい機能】

項目	回答数	割合
1 待合ロビー	235	48.3%
2 個室の待合室	193	39.6%
3 自販機	143	29.4%
4 授乳室	70	14.4%
5 給湯室	71	14.6%
6 誰でもトイレ	176	36.1%
7 葬儀ができる部屋	142	29.2%
8 特に希望は無い	74	15.2%
9 その他	24	4.9%
回答者合計	487	100.0%



○ 火葬場に設けて欲しい機能について、年齢別、性別別、地区別に分析を行いました。

① 年齢別

- ・「19歳以下」では、「待合ロビー」「個室の待合室」「誰でもトイレ」がそれぞれ44.4%でした。
- ・「20～29歳」では、「自販機」が60.9%で最も多く、次いで「個別の待合室」が43.5%、「待合ロビー」が39.1%でした。
- ・「30～39歳」では、「個室の待合室」が59.0%で最も多く、次いで「誰でもトイレ」が41.0%、「待合ロビー」と「自販機」が38.5%でした。
- ・「40～49歳」では、「待合ロビー」が44.3%で最も多く、次いで「個室の待合室」が34.2%、「自販機」が32.9%でした。
- ・「50～59歳」では、「待合ロビー」が41.9%で最も多く、次いで「個室の待合室」が38.7%、「自販機」が33.9%でした。
- ・「60～69歳」では、「待合ロビー」が47.4%で最も多く、次いで「誰でもトイレ」が38.3%、「個室の待合室」が35.3%でした。
- ・「70～79歳」では、「待合ロビー」が63.0%で最も多く、次いで「誰でもトイレ」が45.4%、「個室の待合室」が44.5%でした。
- ・「80歳以上」では、「待合ロビー」が34.8%で最も多く、次いで「誰でもトイレ」が34.8%、「葬儀ができる部屋」が30.4%でした。

若い世代は「自販機」の設置を望む声が多いですが、年齢が上になると「誰でもトイレ」の希望が増えています。

【年齢別にみた火葬場に設けて欲しい機能】

年齢別	1 19歳以下	2 20～29歳	3 30～39歳	4 40～49歳	5 50～59歳	6 60～69歳	7 70～79歳	8 80歳以上	合計
回答数	9	23	39	79	62	133	119	23	487
1 待合ロビー	4 44.4%	9 39.1%	15 38.5%	35 44.3%	26 41.9%	63 47.4%	75 63.0%	8 34.8%	235 48.3%
2 個室の待合室	4 44.4%	10 43.5%	23 59.0%	27 34.2%	24 38.7%	47 35.3%	53 44.5%	5 21.7%	193 39.6%
3 自販機	2 22.2%	14 60.9%	15 38.5%	26 32.9%	21 33.9%	39 29.3%	26 21.8%	0 0.0%	143 29.4%
4 授乳室	0 0.0%	3 13.0%	11 28.2%	9 11.4%	5 8.1%	29 21.8%	13 10.9%	0 0.0%	70 14.4%
5 給湯室	2 22.2%	0 0.0%	1 2.6%	12 15.2%	8 12.9%	27 20.3%	21 17.6%	0 0.0%	71 14.6%
6 誰でもトイレ	4 44.4%	5 21.7%	16 41.0%	20 25.3%	18 29.0%	51 38.3%	54 45.4%	8 34.8%	176 36.1%
7 葬儀ができる部屋	1 11.1%	5 21.7%	8 20.5%	24 30.4%	17 27.4%	39 29.3%	41 34.5%	7 30.4%	142 29.2%
8 特に希望は無い	1 11.1%	2 8.7%	2 5.1%	14 17.7%	11 17.7%	22 16.5%	16 13.4%	6 26.1%	74 15.2%
9 その他	0 0.0%	1 4.3%	1 2.6%	1 1.3%	4 6.5%	9 6.8%	7 5.9%	1 4.3%	24 4.9%

② 性別別

- ・「男性」は、「待合ロビー」が54.2%、「個室の待合室」が41.4%、「誰でもトイレ」が34.9%でした。
- ・「女性」は、「待合ロビー」が42.4%、「個室の待合室」と「誰でもトイレ」が37.7%と、「男性」と比べ上位には差がありませんが、「男性」と比べ「自販機」の希望が多く「男性」25.7%に対して、「女性」は33.5%となっていました。

【性別別にみた火葬場に設けて欲しい機能】

性別	1 男性	2 女性	無回答	合計
回答数	249	236	2	487
1 待合ロビー	135	100		235
	54.2%	42.4%	0.0%	48.3%
2 個室の待合室	103	89	1	193
	41.4%	37.7%	50.0%	39.6%
3 自販機	64	79		143
	25.7%	33.5%	0.0%	29.4%
4 授乳室	30	40		70
	12.0%	16.9%	0.0%	14.4%
5 給湯室	29	41	1	71
	11.6%	17.4%	50.0%	14.6%
6 誰でもトイレ	87	89		176
	34.9%	37.7%	0.0%	36.1%
7 葬儀ができる部屋	73	68	1	142
	29.3%	28.8%	50.0%	29.2%
8 特に希望は無い	42	31	1	74
	16.9%	13.1%	50.0%	15.2%
9 その他	11	13		24
	4.4%	5.5%	0.0%	4.9%

③ 地区別

- ・「芸北地域」は、「誰でもトイレ」が55.4%、「待合ロビー」が53.8%、「個室の待合室」が38.5%で、他の地域と比べトイレに対する希望が高くなっています。
- ・「大朝地域」は、「待合ロビー」が58.8%、「誰でもトイレ」が36.3%、「葬儀ができる部屋」が38.8%でした。
- ・「千代田地域」は、「待合ロビー」が43.2%、「個室の待合室」が41.9%、「誰でもトイレ」が34.6%でした。
- ・「豊平地域」は、「待合ロビー」が57.1%、「個室の待合室」が48.8%「葬儀ができる部屋」が34.1%でした。

「大朝地域」と「豊平地域」は、「葬儀ができる部屋」の希望が多いですが、葬儀の場所で「自宅」の割合が高いことから、自宅以外に葬儀ができる場所の希望が多さにつながっているものと思われます。

地域の火葬場の状況や実情により、設けて欲しい機能の差につながっていると考えられます。

【地域別にみた火葬場に設けて欲しい機能】

お住まいの地区	1 芸北地域	2 大朝地域	3 千代田地域	4 豊平地域	無回答	合計
回答数	66	85	241	94	1	487
1 待合ロビー	35 53.8%	47 58.8%	101 43.2%	52 57.1%	0.0%	235 48.3%
2 個室の待合室	25 38.5%	25 31.3%	98 41.9%	44 48.4%	1 100.0%	193 39.6%
3 自販機	10 15.4%	32 40.0%	73 31.2%	27 29.7%	1 100.0%	143 29.4%
4 授乳室	1 1.5%	9 11.3%	52 22.2%	8 8.8%	0.0%	70 14.4%
5 給湯室	7 10.8%	22 27.5%	32 13.7%	10 11.0%	0.0%	71 14.6%
6 誰でもトイレ	36 55.4%	29 36.3%	81 34.6%	30 33.0%	0.0%	176 36.1%
7 葬儀ができる部屋	15 23.1%	27 33.8%	68 29.1%	31 34.1%	1 100.0%	142 29.2%
8 特に希望は無い	8 12.3%	10 12.5%	42 17.9%	14 15.4%	0.0%	74 15.2%
9 その他	3 4.6%	8 10.0%	12 5.1%	1 1.1%	0.0%	24 4.9%

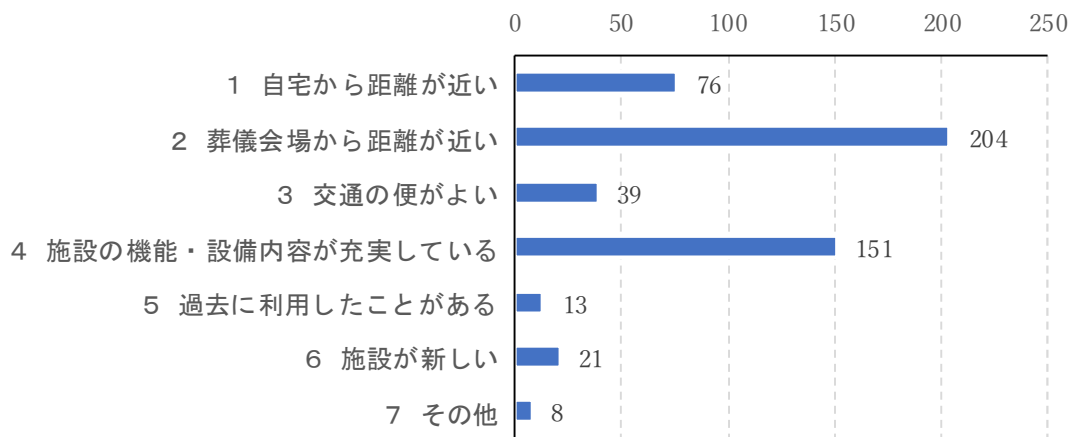
問9 火葬場を利用する際の考え方について、優先度が高いものを1つ選んでください。

葬儀会場から距離が近いが204人の41.9%、次いで施設の機能・設備内容が充実しているが151人の31.0%、自宅から距離が近いが76人の15.6%でした。

【火葬場を利用する際の考え方】

項目	回答数	割合
1 自宅から距離が近い	76	15.6%
2 葬儀会場から距離が近い	204	41.9%
3 交通の便がよい	39	8.0%
4 施設の機能・設備内容が充実している	151	31.0%
5 過去に利用したことがある	13	2.7%
6 施設が新しい	21	4.3%
7 その他	8	1.6%
回答者合計	487	100.0%

※複数回答者があり、回答数の合計は487を超えています。



○ 火葬場を利用する際の考え方について、年齢別、性別別、地区別に分析を行いました。

① 年齢別

「59歳以下」までは、「葬儀会場から距離が近い」が最も多いですが、年齢が上がるにつれて、その割合は減少し、「60～69歳」「70～79歳」では、「施設の機能・設備内容が充実している」が最も多くなっていました。「80歳以上」では「自宅から距離が近い」が最も多くなっていました。

【年齢別の火葬場を利用する際の考え方】

年齢別	1 19歳以下	2 20～29歳	3 30～39歳	4 40～49歳	5 50～59歳	6 60～69歳	7 70～79歳	8 80歳以上	合計
回答数	9	23	39	79	62	133	119	23	487
1 自宅から距離が近い	2 22.2%	3 13.0%	7 17.9%	13 16.5%	11 17.7%	20 15.0%	13 10.9%	7 30.4%	76 15.6%
2 葬儀会場から距離が近い	5 55.6%	14 60.9%	22 56.4%	40 50.6%	24 38.7%	53 39.8%	40 33.6%	6 26.1%	204 41.9%
3 交通の便がよい		3 13.0%	5 12.8%	9 11.4%	8 12.9%	4 3.0%	9 7.6%	1 4.3%	39 8.0%
4 施設の機能・設備内容が充実している	1 11.1%	1 4.3%	5 12.8%	18 22.8%	16 25.8%	54 40.6%	51 42.9%	5 21.7%	151 31.0%
5 過去に利用したことがある	1 11.1%	2 8.7%		1 1.3%	4 6.5%	2 1.5%	3 2.5%		13 2.7%
6 施設が新しい			1 2.6%	8 10.1%	4 6.5%	6 4.5%	2 1.7%		21 4.3%
7 その他			1 2.6%	1 1.3%	3 4.8%	1 0.8%	1 0.8%	1 4.3%	8 1.6%

② 性別別

「男性」は、「葬儀会場から距離が近い」が37.8%、「施設の機能・設備内容が充実している」が32.5%と差は少ないですが、「女性」は、「葬儀会場から距離が近い」が46.2%、「施設の機能・設備内容が充実している」が29.7%と、「男性」と比べ、機能・設備より葬儀会場からの距離に重点を置いているように見受けられました。

【性別別の火葬場を利用する際の考え方】

性別	1 男性	2 女性	無回答	合計
回答数	249	236	2	487
1 自宅から距離が近い	41	35		76
	16.5%	14.8%	0.0%	15.6%
2 葬儀会場から距離が近い	94	109	1	204
	37.8%	46.2%	50.0%	41.9%
3 交通の便がよい	23	16		39
	9.2%	6.8%	0.0%	8.0%
4 施設の機能・設備内容が充実している	81	70		151
	32.5%	29.7%	0.0%	31.0%
5 過去に利用したことがある	8	4	1	13
	3.2%	1.7%	50.0%	2.7%
6 施設が新しい	8	13		21
	3.2%	5.5%	0.0%	4.3%
7 その他	3	5		8
	1.2%	2.1%	0.0%	1.6%

③ 地区別

・「芸北地域」は、「自宅から距離が近い」が35.4%と最も多く、「大朝地域」は「葬儀会場から近い」が42.5%と最も多いですが、「施設の機能・設備内容が充実している」も36.3%と比較的高くなっていました。

・「千代田地域」は、「葬儀会場から距離が近い」が50.0%と半数を占め、「豊平地域」は「施設の機能・設備内容が充実している」が42.9%と最も多くなっていました。

地域により、火葬場を利用する際の考え方について差がみられました。民間式場の有無など葬儀場所の状況によるものと思われます。

【地区別の火葬場を利用する際の考え方】

お住まいの地区	1 芸北地域	2 大朝地域	3 千代田地域	4 豊平地域	無回答	合計
回答数	66	85	241	94	1	487
1 自宅から距離が近い	23	7	29	17		76
	35.4%	8.8%	12.4%	18.7%	0.0%	15.6%
2 葬儀会場から距離が近い	19	34	117	33	1	204
	29.2%	42.5%	50.0%	36.3%	100.0%	41.9%
3 交通の便がよい	3	10	22	4		39
	4.6%	12.5%	9.4%	4.4%	0.0%	8.0%
4 施設の機能・設備内容が充実している	16	29	67	39		151
	24.6%	36.3%	28.6%	42.9%	0.0%	31.0%
5 過去に利用したことがある	2	4	4	3		13
	3.1%	5.0%	1.7%	3.3%	0.0%	2.7%
6 施設が新しい	2	4	10	5		21
	3.1%	5.0%	4.3%	5.5%	0.0%	4.3%
7 その他	3	2	3			8
	4.6%	2.5%	1.3%	0.0%	0.0%	1.6%

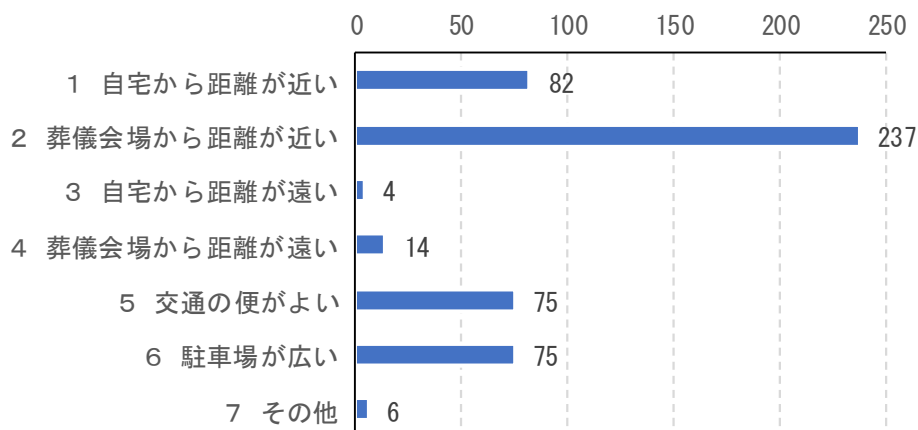
問10 火葬場の立地に求める優先度が高いものを1つ選んでください。

「葬儀会場から距離が近い」が237人の48.7%と最も多く、次いで、「自宅から距離が近い」が82人の16.8%、「交通の便がよい」、「駐車場が広い」がそれぞれ75人の15.4%でした。

【火葬場の立地に求める優先度】

項目	回答数	割合
1 自宅から距離が近い	82	16.8%
2 葬儀会場から距離が近い	237	48.7%
3 自宅から距離が遠い	4	0.8%
4 葬儀会場から距離が遠い	14	2.9%
5 交通の便がよい	75	15.4%
6 駐車場が広い	75	15.4%
7 その他	6	1.2%
合計	487	100.0%

※複数回答者があり、回答数の合計は487を超える。



○ 火葬場の立地に求める優先度について、年齢別、性別別、地区別に分析を行いました。

① 年齢別

「80歳以上」以外は、「葬儀会場から距離が近い」が最も多いですが、「80歳以上」では「自宅から距離が近い」最も多くなっていました。

【年齢別の火葬場の立地に求める優先度】

年齢別	1 19歳以下	2 20～29歳	3 30～39歳	4 40～49歳	5 50～59歳	6 60～69歳	7 70～79歳	8 80歳以上	合計
回答数	9	23	39	79	62	133	119	23	487
1 自宅から距離が近い	1 11.1%	4 17.4%	3 7.7%	15 19.0%	13 21.0%	18 13.5%	20 16.8%	8 34.8%	82 16.8%
2 葬儀会場から距離が近い	3 33.3%	12 52.2%	25 64.1%	43 54.4%	26 41.9%	69 51.9%	52 43.7%	7 30.4%	237 48.7%
3 自宅から距離が遠い	0.0%	0.0%	0.0%	1 1.3%	0.0%	2 1.5%	0.0%	1 4.3%	4 0.8%
4 葬儀会場から距離が遠い	0.0%	0.0%	0.0%	2 2.5%	4 6.5%	6 4.5%	2 1.7%	0.0%	14 2.9%
5 交通の便がよい	2 22.2%	5 21.7%	5 12.8%	7 8.9%	12 19.4%	16 12.0%	26 21.8%	2 8.7%	75 15.4%
6 駐車場が広い	3 33.3%	2 8.7%	7 17.9%	16 20.3%	7 11.3%	24 18.0%	13 10.9%	3 13.0%	75 15.4%
7 その他	0.0%	0.0%	1 2.6%	2 2.5%	2 3.2%	0.0%	0.0%	1 4.3%	6 1.2%

② 性別別

「男性」「女性」とも「葬儀会場から距離が近い」が最も多いですが、「男性」は45.0%、「女性」は53.0%と、「女性」の方が葬儀会場からの近さに重きを置いていました。

「男性」は「交通の便が良い」が「女性」の倍の20.9%と、男女で立地に求める優先度に違いがみられました。

【性別別の火葬場の立地に求める優先度】

性別	1 男性	2 女性	無回答	合計
回答数	249	236	2	487
1 自宅から距離が近い	44 17.7%	38 16.1%	0.0%	82 16.8%
2 葬儀会場から距離が近い	112 45.0%	125 53.0%	0.0%	237 48.7%
3 自宅から距離が遠い	1 0.4%	3 1.3%	0.0%	4 0.8%
4 葬儀会場から距離が遠い	8 3.2%	6 2.5%	0.0%	14 2.9%
5 交通の便がよい	52 20.9%	22 9.3%	1 50.0%	75 15.4%
6 駐車場が広い	32 12.9%	42 17.8%	1 50.0%	75 15.4%
7 その他	1 0.4%	5 2.1%	0.0%	6 1.2%

③ 地区別

「芸北地域」は、「自宅から距離が近い」が38.5%と最も多いですが、「大朝地域」「千代田地域」「豊平地域」は、「葬儀会場から距離が近い」が最も多く、「大朝地域」「千代田地域」は50%を超え、それぞれ52.5%、59.0%となっていました。一方で、「豊平地域」は39.6%でしたが、

「交通の便が良い」が29.7%と、他地区と比べ多くなっていました。

【地区別の火葬場の立地に求める優先度】

お住まいの地区	1 芸北地域	2 大朝地域	3 千代田地域	4 豊平地域	無回答	合計
回答数	66	85	241	94	1	487
1 自宅から距離が近い	25 38.5%	9 11.3%	36 15.4%	12 13.2%	0.0%	82 16.8%
2 葬儀会場から距離が近い	20 30.8%	42 52.5%	138 59.0%	36 39.6%	1 100.0%	237 48.7%
3 自宅から距離が遠い	1 1.5%	0.0%	3 1.3%	0.0%	0.0%	4 0.8%
4 葬儀会場から距離が遠い	0.0%	2 2.5%	7 3.0%	5 5.5%	0.0%	14 2.9%
5 交通の便がよい	8 12.3%	11 13.8%	29 12.4%	27 29.7%	0.0%	75 15.4%
6 駐車場が広い	9 13.8%	19 23.8%	34 14.5%	13 14.3%	0.0%	75 15.4%
7 その他	2 3.1%	1 1.3%	3 1.3%	0.0%	0.0%	6 1.2%

(3) 火葬場のあり方について

アンケート結果から次のような傾向がみられました。

- ・どの地区も、葬儀場所から近い所に火葬場の立地を求めています。また、「千代田地域」は慈光苑も新しく民間の葬儀式場もあるので、他の3地区とは求める考えやニーズが異なっていると思われます。
- ・特に「芸北地域」は「火葬場を利用する際の考え方」や「火葬場の立地に求める優先度」では、他の地区は「葬儀会場から距離が近い」が優先されるに対して、「自宅から距離が近い」が優先されています。
- ・葬儀場所も、「芸北地域」は、「自宅」「公民館・集会場などの地域施設」の割合が高く、他の地区とは異なる意見がみられます。
- ・対して「大朝地域」と「豊平地域」は、「自宅」での葬儀が多いこともあり、「火葬場に設けて欲しい機能」として、「葬儀ができる部屋」の割合が高くなっていました。
- ・どの地区も自宅での葬儀は抵抗があるため、「芸北地域」は「公民館・集会場などの地域施設」が活用されていますが、「大朝地域」と「豊平地域」は「公民館・集会場などの地域施設」の利用が少なく、千代田地域の民間の葬儀式場が遠いこともあり、「葬儀ができる部屋」を求める意見が多かったと思われます。

資料5 火葬場の運営費の想定推移について

ケース1 3火葬場に長寿命化対策実施（浄寿苑は建替）

年度			2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	合計 (税込)		
			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22			
浄寿苑（芸北）			築年数	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64		
慈光苑（千代田）			築年数	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32		
光寿苑（豊平）			築年数	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43		
浄寿苑 （芸北）	昭和51年建設 延床面積93㎡ 火葬炉1基	火葬件数（件）	35	15		33	33	31	31	31	31	31	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30		
		火葬炉数（基）	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
		運営費（千円）	平均	620		620	620		620	620	620	620	620	620	620	620	620	620	620	620	620	620	620	620	9,920
		委託費（千円）	平均	1,586		1,586	1,586		1,586	1,586	1,586	1,586	1,586	1,586	1,586	1,586	1,586	1,586	1,586	1,586	1,586	1,586	1,586	1,586	25,376
		霊柩車運行（千円）	平均	462		462	462		462	462	462	462	462	462	462	462	462	462	462	462	462	462	462	462	7,392
		建物修繕費（千円）	平均	122		500					500	500	500	500	500	500	500	500	500	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	9,000
		火葬炉修繕費（千円）	平均	586		586					200	200	200	1,200	800	800	1,200	800	800	6,000	800	800	1,200	1,200	15,586
		改修等費用（千円）	平均	0				326,700																	326,700
状況						設計	建替工事																393,974		
慈光苑 （千代田）	平成20年建設 延床面積289㎡ 火葬炉2基	火葬件数（件）	188	279		176	176	167	167	167	167	167	163	163	163	163	163	162	162	162	162	162			
		火葬炉数（基）	2	2		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
		運営費（千円）	平均	2,415		2,415	2,415	2,415	2,415	2,415	2,415	2,415	2,415	2,415	2,415	2,415	2,415	2,415	2,415	2,415	2,415	2,415	2,415	2,415	41,055
		委託費（千円）	平均	5,233		5,233	5,233	6,819	5,233	6,563	5,233	5,233	5,233	5,233	5,233	5,233	5,233	5,233	5,233	5,233	5,233	5,233	5,233	5,233	91,877
		霊柩車運行（千円）	平均	1,608		1,608	1,608	2,070	1,608	1,938	1,608	1,608	1,608	1,608	1,608	1,608	1,608	1,608	1,608	1,608	1,608	1,608	1,608	1,608	28,128
		建物修繕費（千円）	平均	140		1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400					19,600
		火葬炉修繕費（千円）	平均	1,142		6,300	3,700	1,200	12,000	13,000	1,460	1,200	2,200	7,500	3,600	1,700	2,000	2,300	2,100						60,260
		改修等費用（千円）	平均	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	281,610				281,610
状況																			改修設計	改修工事			522,530		
光寿苑 （豊平）	平成9年建設 延床面積209㎡ 火葬炉1基	火葬件数（件）	63	14		59	59	56	56	56	56	56	55	55	55	55	55	54	54	54	54	54			
		火葬炉数（基）	1	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		
		運営費（千円）	平均	1,041		1,041	1,041	1,041	1,041	1,041		1,041	1,041	1,041	1,041	1,041	1,041	1,041	1,041	1,041	1,041	1,041	1,041	1,041	16,656
		委託費（千円）	平均	1,330		1,330	1,330	1,330	1,330	1,330		1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	1,330	21,280
		霊柩車運行（千円）	平均	330		330	330	330	330	330		330	330	330	330	330	330	330	330	330	330	330	330	330	5,280
		建物修繕費（千円）	平均	32		1,000	1,000	1,000					500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	1,000	1,000	9,500
		火葬炉修繕費（千円）	平均	1,131		1,131	1,131	1,131					200	200	200	1,200	800	800	1,200	800	800	6,000	800	800	16,393
		改修等費用（千円）	平均	7,559						179,750															179,750
状況								改修設計	改修工事														248,859		
維持管理運営費合計（千円）																							1,165,363		
町外（件）			38	36		36	36	34	34	34	34	34	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33			
合計火葬炉数			4	4		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		

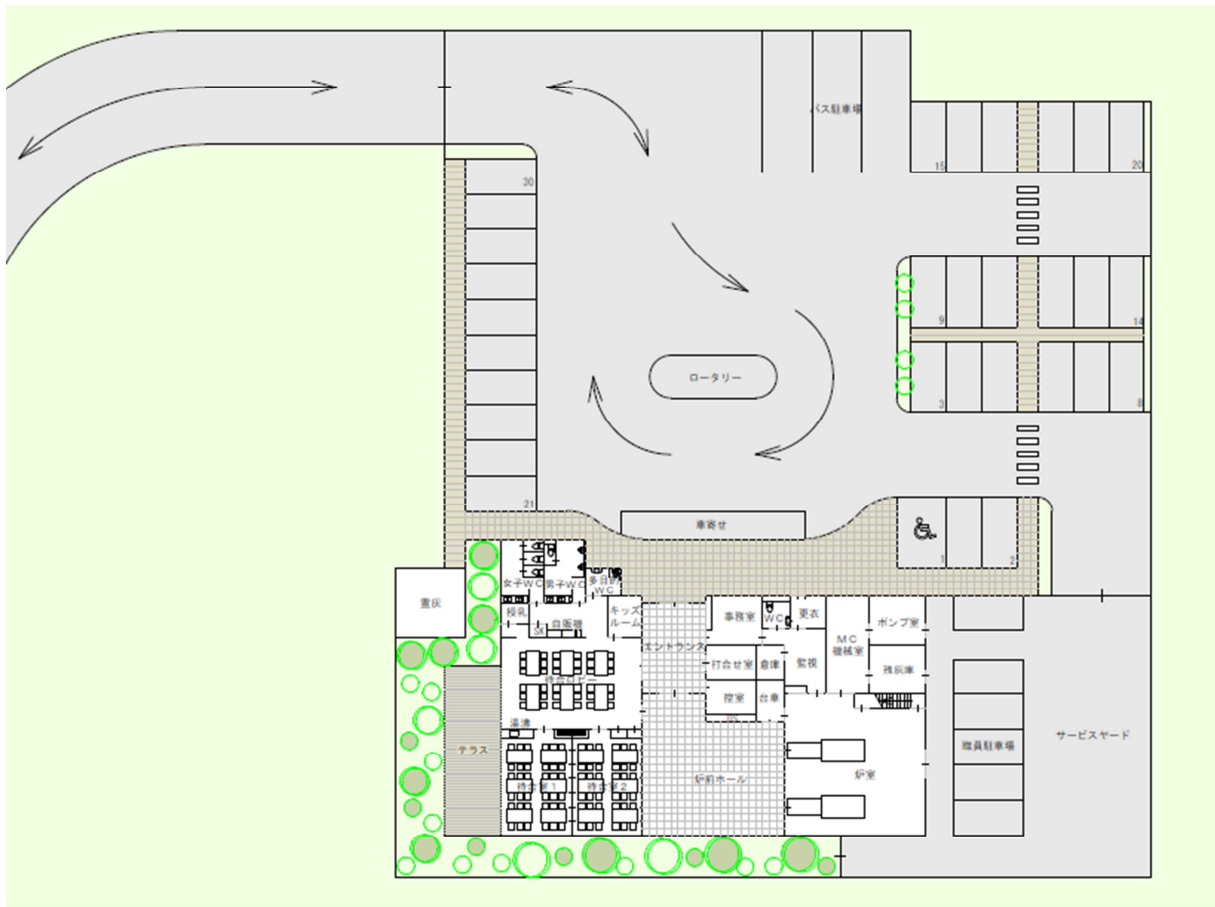
ケース2 慈光苑に統合し、待合スペースを整備（浄寿苑、光寿苑は閉鎖）

年度			2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	合計 (税込)	
			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22		
浄寿苑（芸北）			築年数	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	
慈光苑（千代田）			築年数	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	
光寿苑（豊平）			築年数	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	
浄寿苑 (芸北)	昭和51年建設 延床面積93㎡ 火葬炉1基	火葬件数（件）	35	15		33	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		火葬炉数（基）	1	1		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		運営費（千円）	平均	620		620	620																	1,240
		委託費（千円）	平均	1,586		1,586	1,586																	3,172
		霊柩車運行（千円）	平均	462		462	462																	924
		建物修繕費（千円）	平均	122		1,200	1,200																	2,400
		火葬炉修繕費（千円）	平均	586		586	586																	1,172
		改修等費用（千円）	平均	0																				0
状況						廃止																8,908		
慈光苑 (千代田)	平成20年建設 延床面積289㎡ 火葬炉2基	火葬件数（件）	188	279		176	176	254	254	254	254	254	248	248	248	248	248	246	246	246	246	246		
		火葬炉数（基）	2	2		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
		運営費（千円）	平均	2,415		2,415	2,415	2,898	2,898	2,898	2,898	2,898	2,898	2,898	2,898	2,898	2,898	2,898	2,898	2,898	2,898	2,898	2,898	48,300
		委託費（千円）	平均	5,233		5,233	5,233	8,149	8,149	8,149	8,149	8,149	8,149	8,149	8,149	8,149	8,149	8,149	8,149	8,149	8,149	8,149	8,149	132,701
		霊柩車運行（千円）	平均	1,608		1,608	1,608	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	39,216
		建物修繕費（千円）	平均	140		1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,000	2,000	2,000	24,600
		火葬炉修繕費（千円）	平均	1,142		6,300	3,700	1,200	12,000	13,000	1,460	1,200	2,200	7,500	3,600	1,700	2,000	2,300	2,100	11,900	1,500	300		73,960
		改修等費用（千円）	平均	0			135,724																	135,724
状況				改修設計	改修工事																	454,501		
光寿苑 (豊平)	平成9年建設 延床面積209㎡ 火葬炉1基	火葬件数（件）	63	14		59	59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		火葬炉数（基）	1	1		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		運営費（千円）	平均	1,041		1,041	1,041																	2,082
		委託費（千円）	平均	1,330		1,330	1,330																	2,660
		霊柩車運行（千円）	平均	330		330	330																	660
		建物修繕費（千円）	平均	32		32	32																	64
		火葬炉修繕費（千円）	平均	1,131		1,131	1,131																	2,262
		改修等費用（千円）	平均	7,559																				0
状況						廃止																7,728		
維持管理運営費合計（千円）																							471,137	
町外（件）			38	36		36	36	34	34	34	34	34	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33		
合計火葬炉数			4	4		4	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		

ケース3 新規火葬場建設（既存火葬場は閉鎖）

年度			2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	2036	2037	2038	2039	2040	合計 (税込)		
			R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22			
浄寿苑（芸北）			築年数	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64		
慈光苑（千代田）			築年数	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32		
光寿苑（豊平）			築年数	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43		
浄寿苑 （芸北）	昭和51年建設 延床面積93㎡ 火葬炉1基	火葬件数（件）	35	15		33	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		火葬炉数（基）	1	1		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		運営費（千円）	平均	620		620	620																	1,240	
		委託費（千円）	平均	1,586		1,586	1,586																	3,172	
		霊柩車運行（千円）	平均	462		462	462																	924	
		建物修繕費（千円）	平均	122		1,200	1,200																	2,400	
		火葬炉修繕費（千円）	平均	586		586	586																	1,172	
		改修等費用（千円）	平均	0																				0	
		状況						廃止																8,908	
慈光苑 （千代田）	平成20年建設 延床面積289㎡ 火葬炉2基	火葬件数（件）	188	279		176	176	254	254	254	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		火葬炉数（基）	2	2		2	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		運営費（千円）	平均	2,415		2,415	2,415	2,898	3,478	4,173														15,379	
		委託費（千円）	平均	5,233		5,233	5,233	8,149	5,233	5,233														29,081	
		霊柩車運行（千円）	平均	1,608		1,608	1,608	2,400	2,400	2,400														10,416	
		建物修繕費（千円）	平均	140		500	500	500	500															2,000	
		火葬炉修繕費（千円）	平均	1,142		6,300	3,700	1,200	1,142															12,342	
		改修等費用（千円）	平均	0																				0	
		状況										廃止												69,218	
光寿苑 （豊平）	平成9年建設 延床面積209㎡ 火葬炉1基	火葬件数（件）	63	14		59	59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		火葬炉数（基）	1	1		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		運営費（千円）	平均	1,041		1,041	1,041																	2,082	
		委託費（千円）	平均	1,330		1,330	1,330																	2,660	
		霊柩車運行（千円）	平均	330		330	330																	660	
		建物修繕費（千円）	平均	32		32	32																	64	
		火葬炉修繕費（千円）	平均	1,131		1,131	1,131																	2,262	
		改修等費用（千円）	平均	7,559																				0	
		状況										廃止												7,728	
新火葬場	令和9年建設 延床面積700㎡ 火葬炉2基	火葬件数（件）									254	254	248	248	248	248	248	246	246	246	246	246			
		火葬炉数（基）										2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2		
		運営費（千円）										4,347	4,347	4,347	4,347	4,347	4,347	4,347	4,347	4,347	4,347	4,347	4,347	52,164	
		委託費（千円）										8,149	8,149	8,149	8,149	8,149	8,149	8,149	8,149	8,149	8,149	8,149	8,149	97,788	
		霊柩車運行（千円）										2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	28,800	
		建物修繕費（千円）											1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	2,000	2,000	13,000	
		火葬炉修繕費（千円）											400	400	2,500	1,600	2,000	2,500	1,500	1,600	14,000	2,000	400	28,900	
		改修等費用（千円）																							858,495
		状況										設計	建設工事											1,079,147	
維持管理運営費合計（千円）																							1,165,001		
町外（件）			38	36		36	36	34	34	34	34	34	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33			
合計火葬炉数			4	4		4	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2			

ケース3の新火葬場建設案の参考イメージ図です。



新火葬場イメージ図

新火葬場案工事費試算

工事種目	数量	金額	備考
建築工事	639.0 m ²	479,250,000	
火葬炉工事	1 式	130,000,000	
外構工事	2360.0 m ²	47,200,000	修景含まず
造成・進入路工事	1 m ²	100,000,000	
設計監理料	1 式	24,000,000	
計		780,450,000	
消費税		78,045,000	
合計		858,495,000	土地取得費は含まず

(1) 候補地選定の進め方

火葬場を都市計画区域内で建設する場合は、都市計画決定を原則としており、都市計画法に定められた都市計画決定の手続により、位置を決定する必要があります。その過程においては、説明会や公聴会を開催するなど、住民の意見を反映する機会が設けられています。

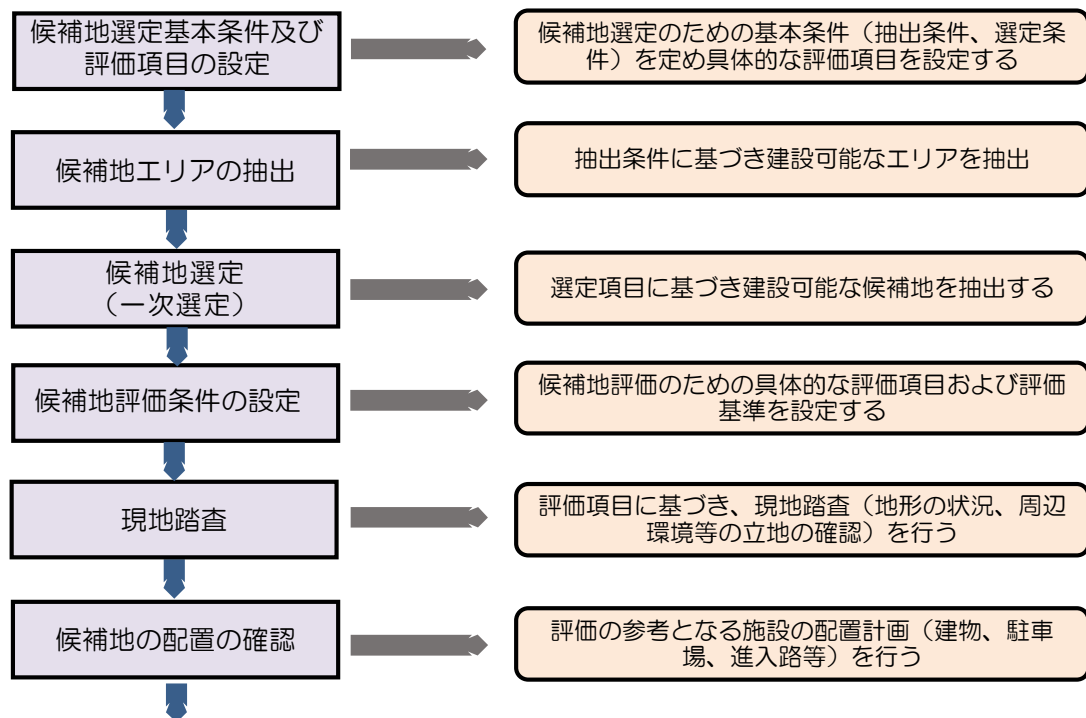
火葬場の候補地選定にあたり、地域住民の理解を得る事がとても重要となります。火葬場建設の際は、ほとんどのケースで周辺住民の反対があり、交渉に慎重さが求められるため、比較的水面下で進められることが多く、そのため、計画が具体化するまで公表されないケースが多くみられます。

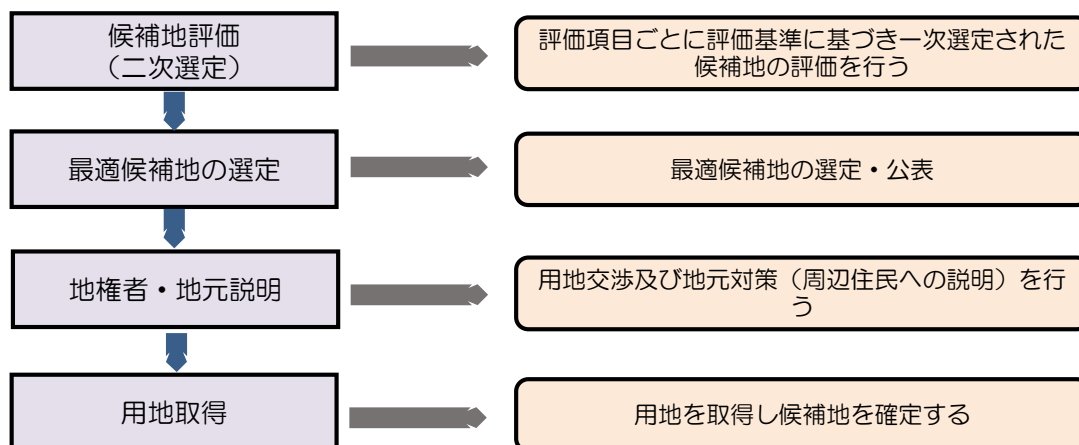
しかし、せっかく候補地が選定されても、周辺住民からは候補地の選定過程が不明確な場合や、選定理由もはっきりしないといったことから周辺住民の同意を得ることができないだけでなく、逆に反対運動に発展することもあります。結果、選定された候補地を断念せざるを得ないといった事例もみられます。

新火葬場の整備に当たり、施設のもつ特性から、用地取得・建設に至るまでに相当な困難と年月を要することが想定されます。

候補地の選定にあたっては、水面下での地権者との協議の後に住民合意を得る形式ではなく、町が目指す新火葬場像をもとに、予め評価基準を明確にし、評価の過程を公表しながら候補地を選定するのが望ましいと考えます。

常に情報公開しながら候補地選定を進めることにより住民理解が得やすくなると思われ、また早期建設につながると考えます。





(2) 候補地選定条件

1) 候補地選定の条件

火葬場の候補地選定に当たっては、関係法令は元より、次のとおり考慮すべき諸条件があります。以下に候補地選定にあたり想定される条件等を示します。

〔自然環境条件〕

- ・土地（地形、地質、地盤、地勢等の条件）
- ・周辺環境（風向き等の影響、景観上の調和）

例えば、火葬場の建設に支障のないよう、平坦地が確保できることや、地盤が安定していること等。

〔社会的条件〕

- ・関係法令（土地利用関係法令等による規制等）
- ・周辺の土地利用

例えば、多数人の集合する地から 200 メートル以上離れていること。

〔その他の条件〕

- ・道路交通環境（周辺の道路・交通条件、幹線道路からのアクセス性）
- ・インフラ整備状況（上下水道、ガス等）
- ・地域性（住宅地からの距離等）

例えば、住民がどこからでも利用しやすいように町内中心位置又は人口重心に近い位置や、車での利用を想定し、今後整備される道路も含めてアクセスを考慮すること等。

2) 一次選定

候補地をある一定の条件で絞り込むため、以下の候補地要件を満たす候補地を抽出します。利便性や必要面積が確保できるかなどを基に一次評価項目を設定します。

候補地選定の主な基本条件は次の通りです。

一次選定条件

① 建設に必要な面積を確保できる

- ・面積 3,000 m²
3,000 m²の平地が確保できること（造成可）

② 利便性

- ・人々が集まりやすい場所
人が少ない不便な場所での立地ではない（町内中心位置又は人口重心に近い場所）
幹線道路からアクセスしやすい場所である

③ 法規制等

施設安全性や事業費から次の場所を除くのが望ましい。

- ・北広島町ハザードマップから
土砂災害危険箇所
特別警戒区域
警戒区域
砂防指定地
地すべり防止区域
急傾斜地崩落危険区域
土石流危険区域
家屋倒壊のおそれのある区域
氾濫流
河川浸食

【 参考 】

- ・その他許認可等にかかる関係法令等
 - ・国立公園（自然公園法第20条第3項外）
 - ・国有林（森林法第10条の2第2項）
 - ・保安林（森林法第26条第1項外）
 - ・埋蔵文化財包蔵地（文化財保護法、広島県文化財保護条例、北広島町文化財保護条例）など
- ・人口重心とは
人口の1人1人が同じ重さ（体重）を持つと仮定して、その地域内の人口が、全体として平衡を保つ（バランスが取れる）ことのできる点をいいます。住んでいる人口に対する中心点です。
利便性の評価として、公共施設の適切な配置などの行政施策などに活用されています。

- ・建築基準法（昭和 25 年法律第 201 号）

（卸売市場等の用途に供する特殊建築物の位置）

第 51 条 都市計画区域内においては、卸売市場、火葬場又はと畜場、汚物処理場、ごみ焼却場その他政令で定める処理施設の用途に供する建築物は、都市計画においてその敷地の位置が決定しているものでなければ、新築し、又は増築してはならない。ただし、特定行政庁が都道府県都市計画審議会の議を経てその敷地の位置が都市計画上支障がないと認めて許可した場合又は政令で定める規模の範囲内において新築し、若しくは増築する場合においては、この限りでない。

【候補地のイメージ】

- ・敷地からの景観が優れた場所（例：豊かな田園や象徴的な山などが望める）
- ・周辺の環境緑地が確保されやすい場所
- ・会葬者が集まりやすいように幹線道路からのアクセスに優れた場所
- ・水源地となっていない場所
- ・地すべり、出水等災害のおそれの少ない場所
- ・町内中心位置又は人口重心を考慮した場所

3) 二次選定

① 二次選定項目

二次選定は、一次選定の評価項目をすべて満たした土地について、新火葬場建設候補地としての適性を測るものです。

二次選定評価項目は施設整備の基本方針に基づき項目を設定します。複数の基本方針に関連する評価項目については、最も関連性の強い方針に基づくものとして整理します。

② 二次選定の評価方法について

評価基準の設定評価基準は、各評価項目の具体的な評価の基準であり、評価項目毎に3段階または2段階の基準を設定し評価が行われます。

③ 配点基準

各評価項目に対する点数化による評価は各評価項目に配点を定めます。

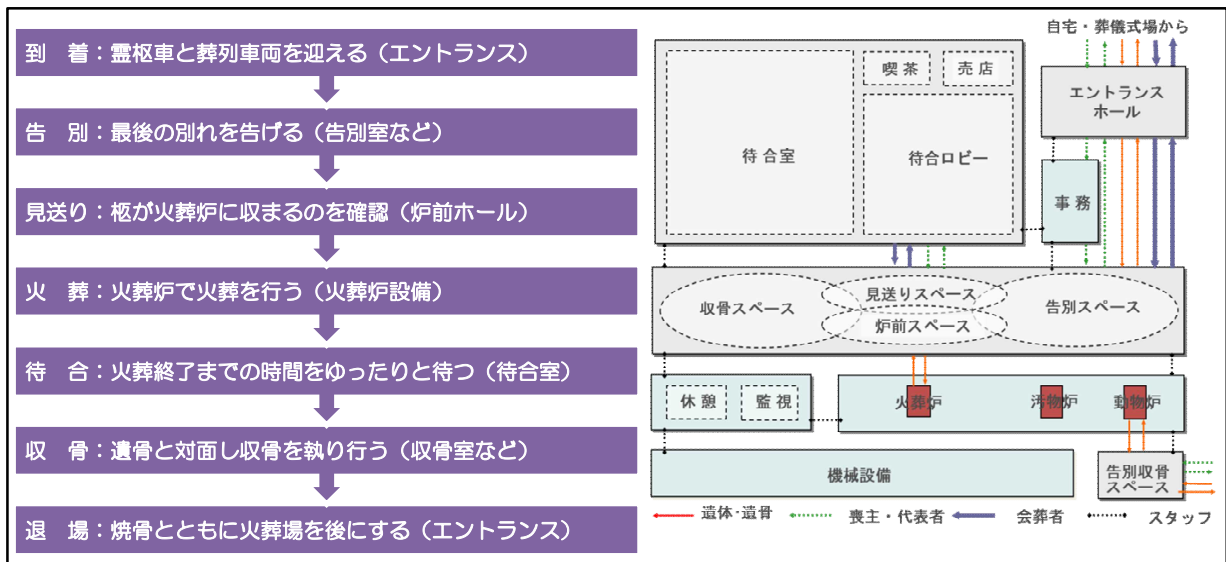
3段階に区分した評価項目として、3点、2点、1点の採点、また2段階に区分した評価項目は 3点、1点の採点などが考えられます。

(1) 火葬場の機能

火葬場は、誰にでも避けることのできない、死に関わり、全ての人の生活に密着した施設です。遺体との最後のお別れとなる「告別行為」、火葬炉に入るのを見送る「見送り行為」、焼骨を確認し遺族らが拾い骨壺に収める「収骨行為」が行われています。

一般的に火葬場での葬送行為の流れは次の通りです。

- ① 霊柩車を先頭にした葬列車両が車寄せに到着する。
- ② 告別室など告別スペースで最後のお別れを行う。
- ③ 炉前・見送りスペースで柩が火葬炉に納まることを確認し見送りを行う。
- ④ 火葬炉設備で火葬を行う。
- ⑤ 火葬が終わる時間までの時間をゆったりと待合室で過ごす。
- ⑥ 収骨室など収骨スペースで遺骨と対面し収骨を行う。
- ⑦ 焼骨とともに火葬場を後にする。



葬送行為の流れと斎場の機能図

近年、葬儀の簡素化がみられるものの、遺体が火葬炉に納まるのを近くで見送りたいという遺族の希望は依然として強いです。焼骨に対するこだわりも持っており、収骨を行うことが日本の火葬の特色となっています。

日本の火葬場は、遺体と最後のお別れを行う「告別行為」、遺体が火葬炉に納まるのを見届ける「見送り行為」、火葬後の焼骨を確認し、遺族らが拾い骨壺に収める「収骨行為」などの葬送行為を通して、故人の死を受容する場になっており、儀式の個別化が図れるように配慮する火葬場が増えています。

また、生涯未婚率や単身世帯の増加など、家族形態が大きく変わり、地域と住民とのつながりも大きく変化しています。会葬者の人数の減少など葬儀の小規模化はますます進むものと思われています。

(2) 火葬炉設備

1) 火葬炉設備に関する法令等

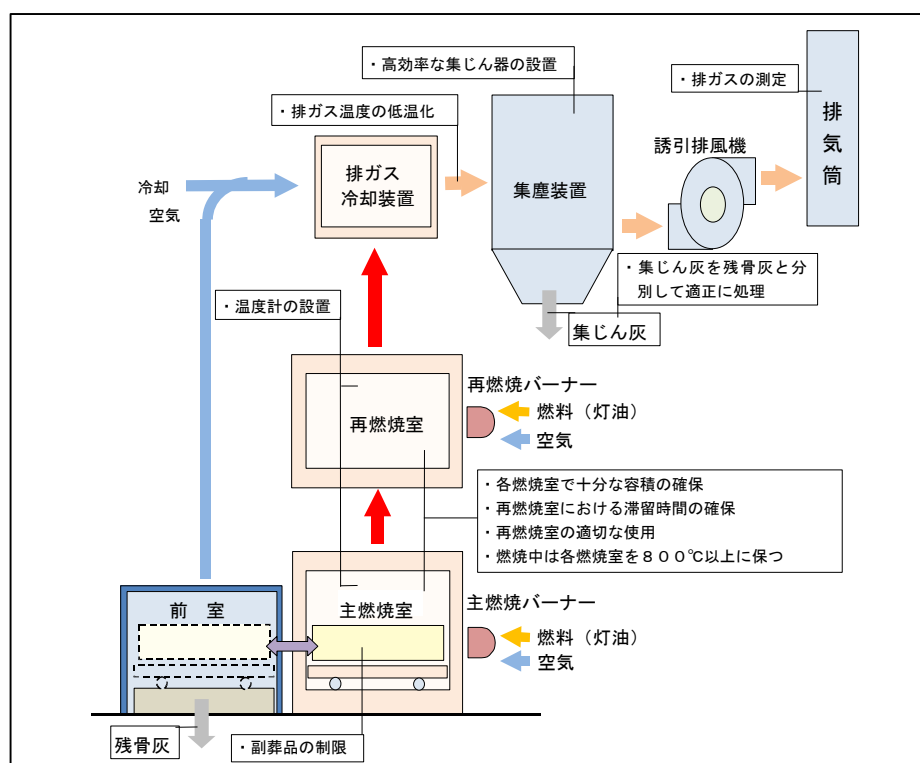
火葬炉の仕様に関する事項は、法令等に定められていませんが、火葬炉設備の設計・施工に当たっては、関連する法令等を参考にしています。

「北広島町墓地、埋葬等に関する法律施行細則」（平成20年3月26日 規則第12号）では、火葬場の構造に関して次のよう示されています。

- ① 周囲に柵を設けること。
- ② 火炉及び煙突は堅ろうであって、臭煙を防ぐ装置を有すること。
- ③ 死体置場、付添人控所その他必要な附属施設を設けること。

2) 火葬炉設備に関するダイオキシン類対策

物が燃焼することによって発生する排ガス中のダイオキシン類は、火葬炉においても免れません。「火葬場から排出されるダイオキシン類削減対策指針（以下：削減対策指針）」については、火葬場から排出されるダイオキシン削減対策検討会から平成12（2000）年3月に示されています。



ダイオキシン類の削減対策がなされた火葬炉システムフロー

①削減対策指針の概要

- ・ 炉の構造として、安定した燃焼を行うことができるよう各燃焼室の容積を確保するとともに、再燃焼室における滞留時間を最大燃焼ガス量に対して1秒以上確保すること。
- ・ 1つの主燃焼室に対して1つの再燃焼室を設置し、再燃焼室を適切に使用すること。

- ・燃焼方法については、再燃焼室を予熱し、燃焼中の温度を各燃焼室とも 800℃以上に保つこと。

②排ガス濃度の指針値

- ・新設炉の排ガス中のダイオキシン類濃度の指針値 1ng-TEQ/m³N
- ・既設炉の排ガス中のダイオキシン類濃度の指針値 5ng-TEQ/m³N

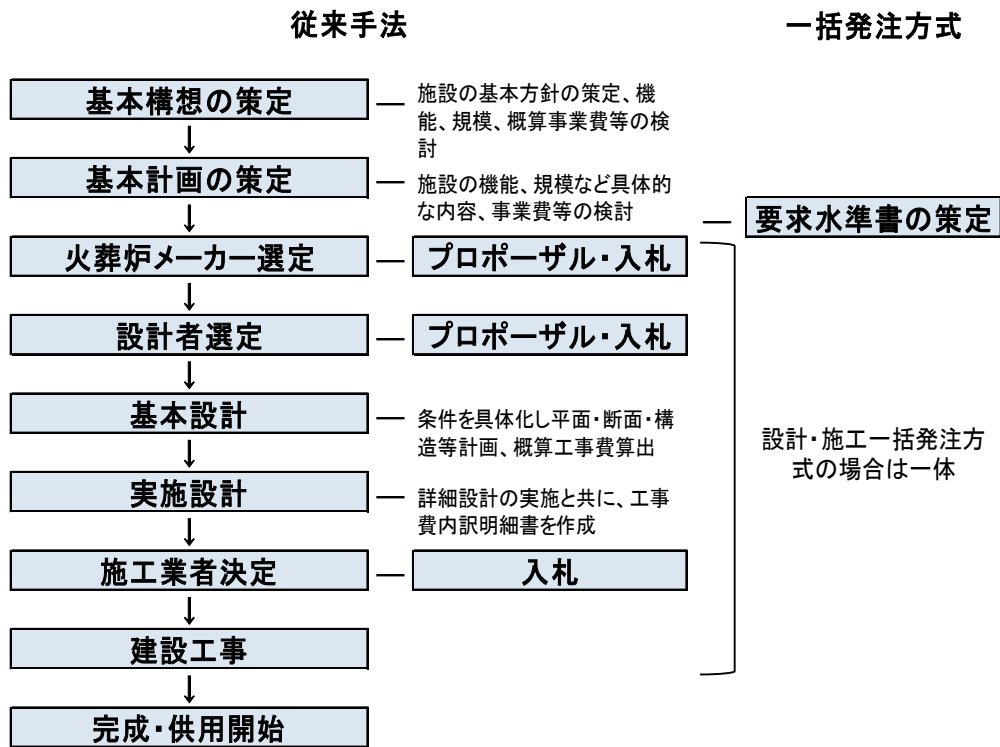
(1) 事業手法の流れ

新たな火葬場の整備に当たり、基本設計・実施設計から建設工事と進み、そして完成後は運営を行うことになります。

火葬場建設には、建築設計、火葬炉設計・施工、建築工事を別々の業者が行う分離発注方式の従来手法と、全てをまとめて行う一括発注方式（DB方式）があります。

一括発注方式の中には、DB方式に運営を含めたDBO方式の他、建設に関する資金調達まで民間事業者が行うPFI方式での建設もみられます。

一般的に、一括発注方式の方が、従来手法と比べ1~2年ほど完成までの期間が長くなります。従来手法と一括発注方式とした場合の事業の流れが次の図です。



事業の流れ

斎場建設における発注方式及び事業手法別の特徴

発注方式	分離発注方式	一括発注方式																																																																																	
	従来方式	DB方式	DBO方式	PFI方式 (サービス購入型)																																																																															
概要	火葬炉工事、基本設計、実施設計、建設工事をそれぞれの段階で業者を決め発注する (運営は別途決定)	基本設計・実施設計・建設工事を企業体に一括で発注する (運営は別途決定)	基本設計・実施設計・建設工事・運営を企業体に一括で発注する (DB方式に運営を追加)	基本設計・実施設計・建設工事・運営を企業体に一括で発注する (DBO方式に資金調達を追加)																																																																															
業務実施者の形体	<table border="1"> <tr><td>業務</td><td>実施者</td></tr> <tr><td>基本設計</td><td>設計業者</td></tr> <tr><td>↓</td><td>↓</td></tr> <tr><td>実施設計</td><td>設計業者</td></tr> <tr><td>↓</td><td>↓</td></tr> <tr><td>建設工事</td><td>建設会社</td></tr> <tr><td>炉工事</td><td>炉メーカー</td></tr> <tr><td>↓</td><td>↓</td></tr> <tr><td>運営</td><td>運営業者</td></tr> </table>	業務	実施者	基本設計	設計業者	↓	↓	実施設計	設計業者	↓	↓	建設工事	建設会社	炉工事	炉メーカー	↓	↓	運営	運営業者	<table border="1"> <tr><td>業務</td><td>実施者</td></tr> <tr><td>基本設計</td><td>コンサルタント</td></tr> <tr><td>↓</td><td>↓</td></tr> <tr><td>実施設計</td><td>企業体</td></tr> <tr><td>↓</td><td>↓</td></tr> <tr><td>建設工事</td><td>設計業者</td></tr> <tr><td>炉工事</td><td>建設会社</td></tr> <tr><td>↓</td><td>↓</td></tr> <tr><td>運営</td><td>炉メーカー</td></tr> <tr><td></td><td>運営業者</td></tr> </table>	業務	実施者	基本設計	コンサルタント	↓	↓	実施設計	企業体	↓	↓	建設工事	設計業者	炉工事	建設会社	↓	↓	運営	炉メーカー		運営業者	<table border="1"> <tr><td>業務</td><td>実施者</td></tr> <tr><td>基本設計</td><td>コンサルタント</td></tr> <tr><td>↓</td><td>↓</td></tr> <tr><td>実施設計</td><td>企業体</td></tr> <tr><td>↓</td><td>↓</td></tr> <tr><td>建設工事</td><td>設計業者</td></tr> <tr><td>炉工事</td><td>建設会社</td></tr> <tr><td>↓</td><td>↓</td></tr> <tr><td>運営</td><td>炉メーカー</td></tr> <tr><td></td><td>運営業者</td></tr> </table>	業務	実施者	基本設計	コンサルタント	↓	↓	実施設計	企業体	↓	↓	建設工事	設計業者	炉工事	建設会社	↓	↓	運営	炉メーカー		運営業者	<table border="1"> <tr><td>業務</td><td>実施者</td></tr> <tr><td>基本設計</td><td>コンサルタント</td></tr> <tr><td>↓</td><td>↓</td></tr> <tr><td>実施設計</td><td>企業体</td></tr> <tr><td>↓</td><td>↓</td></tr> <tr><td>建設工事</td><td>設計業者</td></tr> <tr><td>炉工事</td><td>建設会社</td></tr> <tr><td>↓</td><td>↓</td></tr> <tr><td>運営</td><td>炉メーカー</td></tr> <tr><td></td><td>運営業者</td></tr> </table>		業務	実施者	基本設計	コンサルタント	↓	↓	実施設計	企業体	↓	↓	建設工事	設計業者	炉工事	建設会社	↓	↓	運営	炉メーカー		運営業者
業務	実施者																																																																																		
基本設計	設計業者																																																																																		
↓	↓																																																																																		
実施設計	設計業者																																																																																		
↓	↓																																																																																		
建設工事	建設会社																																																																																		
炉工事	炉メーカー																																																																																		
↓	↓																																																																																		
運営	運営業者																																																																																		
業務	実施者																																																																																		
基本設計	コンサルタント																																																																																		
↓	↓																																																																																		
実施設計	企業体																																																																																		
↓	↓																																																																																		
建設工事	設計業者																																																																																		
炉工事	建設会社																																																																																		
↓	↓																																																																																		
運営	炉メーカー																																																																																		
	運営業者																																																																																		
業務	実施者																																																																																		
基本設計	コンサルタント																																																																																		
↓	↓																																																																																		
実施設計	企業体																																																																																		
↓	↓																																																																																		
建設工事	設計業者																																																																																		
炉工事	建設会社																																																																																		
↓	↓																																																																																		
運営	炉メーカー																																																																																		
	運営業者																																																																																		
業務	実施者																																																																																		
基本設計	コンサルタント																																																																																		
↓	↓																																																																																		
実施設計	企業体																																																																																		
↓	↓																																																																																		
建設工事	設計業者																																																																																		
炉工事	建設会社																																																																																		
↓	↓																																																																																		
運営	炉メーカー																																																																																		
	運営業者																																																																																		
資金	公共	公共	公共	民間事業者																																																																															
業者選定	容易	複雑	DB方式より複雑	DBO方式より複雑																																																																															
	入札又は技術提案評価型(プロポーザル) 業務ごとに最も優れた企業を選ぶことが可能	発注者が要求水準書を提示し、それに対して事業者が作成した技術提案書と金額を総合的に評価する 総合的に評価されるため、評価が低い企業が含まれる場合がある																																																																																	
建設工事費のコスト削減効果	発注者側の仕様見直しにより縮減可能 応札者が多くなり競争原理が働く	デザインの無駄を省き効率的な設計によりコスト縮減が可能であるが、仕様の決定権が事業者側にあり仕様に対する発注者側からの不満への対応が難しい(仕様と建設費縮減の関係が不明確) 技術提案書の作成は無償(応募者の負担が大きい) コンサルタントへの支払いは増える(DB方式<DBO方式<PFI方式)																																																																																	
設計の柔軟性	実施設計段階でも発注者の意向を柔軟に反映させることができる 設計の満足度が高い	要求水準書作成段階で、建物の仕様など詳細な内容を確定しておく必要がある 契約後に実施設計を行うが、設計変更には契約の変更が伴うため、議会承認が必要となるなど、実施設計で発注者の意見を反映するのは困難																																																																																	
運営	別途契約のため、業務委託・指定管理者制度など柔軟に対応可能	モニタリングの費用が発生する 葬送行為の変化が著しいが、変化にどのように対応させるかが課題																																																																																	
想定されるリスク	設計後の建設費の高騰などにより入札不調となるケースがある	葬送に対する意識変化が早く実施設計段階で求められる機能が合わない可能性がある	DB方式に追加し、長期運営契約のため葬送行為の変化による運営のリスクが追加される	DBO方式に追加し、事業者の資金調達に関するリスクが追加される																																																																															

1) 従来手法について

従来から行われている、火葬炉工事、基本・実施設計、建設工事をそれぞれの段階で業者を決め発注する方式です。運営は別途決定します。

入札又は技術提案評価型(プロポーザル)により、業者を選定します。設計業者や建設施工業者が単独で参加可能なため、多くの参加者が見込まれ、業務ごとに最も優れた企業を選ぶことが可能となります。そのため、最も金額が大きい、建設工事において応札者が多くなり競争原理が働くことにより、品質を確保したまま建設工事費の縮減が可能となります。

実施設計段階でも発注者の意向を柔軟に反映させることができるなど、設計の自由度は高くな

り、その分発注者の満足度は高くなります。

設計後の建設費の高騰などにより入札不調となるケースがあるといった課題もみられます。

2) 一括発注方式について

一括発注方式のうち長期の運営を含めたDBO方式やPFI方式では、葬送行為の変化への柔軟な対応ができないといった課題があります。また、施設の機能や性質、運営など施設整備業務全般において詳細な内容を定める要求水準書の作成が難しいだけでなく、想定される運営リスクが大きくなります。

運営を除いた一括発注方式であるDB方式は、発注の効率化や建設費の削減が見込めるなどのメリットがありますが、要求水準書の作成に加え、従来方式と比べ事業者選定作業が複雑となります。また、火葬炉業者の数が少ないこともあり、1者しか応募しないケースもみられるなど、参加業者が限られるといった課題もおこりえます。

住民対応を行いながら設計を進める必要もあり、設計中に条件が変わることも想定されますが、一括発注方式では、要求水準書に基づき、事業者が提案する技術提案書を基準として契約後に実施設計が行われるため、実施設計後に事業者の提案内容に課題があったとしても、発注者の意向が反映されにくいです。

このようなことから、一括発注方式は、一般的な公共施設と異なる斎場の葬送の場としての仕様への対応が難しく、課題も多くみられます。

(2) 運営事業手法

運営形態については、直営管理、業務委託、指定管理者制度等がありますが、その特徴や実現可能性を十分に見極め、より有効な手法の採用に向け検討を進める必要があります。

直営及び委託方式は自治体職員の場長が管理するものとした場合、及び指定管理者方式の場合の、運営手法別の評価について次の表に示します。

火葬は福祉サービスの一環として、火葬料金は政策的な料金形態として独立採算とせず、無料または低廉な火葬料金とする場合が多いです。

火葬場の収入としては、火葬料金、待合室の使用料、葬儀式場を併設している場合は葬儀式場の使用料などがありますが、多くの自治体では、十分な収入を想定せずに、維持運営費のほとんどを税金でまかっています。

火葬料金も受益者負担とすべきといった意見もありますが、住民の誰もが等しく選択できる施設であり、単なるコストに応じた有料化の議論は馴染まないという意見もあります。

公営火葬場でも、火葬料金等の収入で維持運営費をまかなう事例が一部で見られますが、民営火葬場と利用者が競合する東京区部の斎場などの一部に限られています。

火葬場の運営にあたり、質の高い行政サービスを提供し、利用者の満足度を高める施設とする一方、財政負担の軽減に努め、限られた財源を有効に活用する運営が求められています。

運営手法別の評価

	直営方式	委託方式	指定管理者方式
施設の管理体制	自治体職員の場長が管理するため自治体側も業務の状況を把握しやすく指示系統が明確である ◎	自治体職員の場長が管理するため自治体側も業務の状況を把握しやすく指示系統が明確である ◎	指定管理者が仕様に基づき施設を管理するため、指定管理者の報告及びヒアリングに基づいた施設運営の把握となる △
トラブル時の対応と把握	自治体職員の場長が対応するため、自治体側も内容を把握しやすく、瞬時に対応しやすい ◎	自治体職員の場長が対応するため、自治体側も内容を把握しやすく、瞬時に対応しやすい ◎	指定管理者が対応するため、内容によっては報告されなかったり、詳細が把握できない可能性がある △
コスト縮減方法と効果	直営のため、コスト縮減が図りにくい △	一部の業務を委託することによりコスト縮減が図れる 特に比率の高い人件費の縮減が可能である ○	指定管理者に管理を一括に任せることにより、コスト縮減を図ることが可能 ◎
行政の事務負担の低減	管理業務や委託業務が複数に分かれるため、担当職員の業務が多くなる ○	管理業務や委託業務が複数に分かれるため、担当職員の業務が多くなる ○	定期的に業務評価を行ったり、指定管理者の選定の際の募集や評価など負担が増えるが、業務を個別に契約する必要が無いため契約行為の負担が減る ◎
運営上の課題	安定したサービスの提供が可能であるが、職員の業績評価が難しいため、業務の硬直化や、サービスが疎かになる可能性がある ○	単年度契約となるため、入札で契約している場合、火葬業務等の人材確保の面で不安がある 対策として炉メーカーに随意契約で委託するケースがある ○	サービスの向上が図れる面もあるが、利益を出すための運営により、機器の保全の不安や見えないところでのサービス低下の可能性もある △
総合	施設の管理は問題無いが、コスト縮減やサービス面に課題が残る ○	施設管理とコスト縮減のバランスが図れる ◎	コスト縮減が図れるが、施設管理に不安が残る ○

1) 直営方式

自治体職員の場長が管理するため、自治体側も業務の状況を把握しやすく指示系統が明確であるなど、施設の管理体制などについては問題無いが、コスト縮減やサービス面に課題が残ります。

2) 委託方式

自治体職員の場長が管理するため自治体側も業務の状況を把握しやすく指示系統が明確です。また、一部の業務を委託することによりコスト縮減が図れます。特に比率の高い人件費の縮減が可能となります。

施設の管理体制及びトラブル時の対応、コスト縮減とのバランスが最もとれている方式であるといえます。

3) 指定管理者方式

指定管理者に管理を一括に任せることにより、コスト縮減を図る事が可能です。サービスの向上が図れる面もありますが、利益を出すための運営により、機器の保全の不安や見えないところでのサービス低下の可能性があります。

トラブルに関しては指定管理者が対応するため、内容によっては報告されなかったり、詳細が把握できない可能性があることから、公営施設にもかかわらず、責任の所在も曖昧となる可能性もあるなど、遺族対応などを含め施設管理に対して不安が残ることになります。

どの事業方式とした場合でも、斎場は遺族や会葬者に配慮した運営が求められることから、運営開始当初は知識が豊富で目配りができ、適正な判断ができる人員を配置するとともに、職員を上手く指揮しながら遺族と感情的なトラブルに発展しない管理者を配置する必要があります。

